OKI

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 9500PS-F
MICROLINE 9500PS
MICROLINE 9300PS

ユーザーズマニュアル
（セットアップ編）

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 9500PS-F → ML9500PS-F
- MICROLINE 9500PS → ML9500PS
- MICROLINE 9300PS → ML9300PS
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0、の総称→ Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第148条、第149条、第162条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
なお、オプションのフィニッシャを使用した場合、この装置はクラスA情報技術装置になり、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriter、TrueTypeおよびColorSyncは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
Adobe、Adobeロゴ、Adobe Illustrator、AdobePS、Adobe Type Manager、ATM、PageMaker、Photoshop、PostScriptおよびPostScript3はAdobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
平成明朝体、平成角ゴシック体は、(財)日本規格協会　文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
リュウミンライト-KL、中ゴシックBBB、太ミンA101、太ゴB101、じゅん101は、株式会社モリサワの商標です。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4.本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Acrobat Readerは除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを一部複製することができます。
2. 財産権および義務
（1）本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
（2）第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
（3）お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
（4）お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。
3. 期間
（1）お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
（2）お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
（3）お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。
4. 保証
（1）沖データは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
- 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
- 本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
- 第三者の権利を侵害していないこと。
- 特定の目的に適合していること。

（2）本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。
5. 責任の限定
沖データは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。
6. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。
7. 輸出管理
本ソフトウェアは、日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。
8. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本件ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

また、本ソフトウェアには、米国のAdobe System incorporated(アドビシステム社)が提供するソフトウェア（以下「アドビソフトウェア」といいます）が含まれています。アドビソフトウェアの使用許諾契約は以下によるものとします。

＊＊＊＊＊

アドビソフトウェアの使用許諾契約（以下「アドビ契約」といいます）

アドビシステム社（以下「アドビ」といいます）が提供する以下のものについては、アドビ契約が優先するものとします。

- PostScript®ソフトウェア及びその他のアドビのソフトウェアを含むプリンティングシステムの一部であるソフトウェア(以下「プリンティングソフトウェア」)
- 専用フォーマットでディジタルコード化及び暗号化された機械読み取り可能なアウトラインデータ(以下「フォントプログラム」)
- プリンティングソフトウェアと連動してコンピュータシステム上で実行されるその他のソフトウェア(以下「ホストソフトウェア」)
- 上記全てに関連する説明文書(以下「ドキュメンテーション」).

アドビソフトウェアには、プリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアのいずれかまたは全て、及びそれらのアップグレード版、修正版、追加、複製物が含まれるものとします。

1. プリンティングソフトウェア
   お客様は、プリンティングソフトウェア(オブジェクトコード形式のみ)及び付随するフォントプログラムが組み込まれたコントローラーを搭載した単一の出力装置において、そのプリンティングソフトウェア及びフォントプログラムを使用することができます。
2. ローマンフォントプログラム
   上記、1条(プリンティングソフトウェア)で規定されるフォントプログラムの使用許諾に加えて、お客様は、文字、数字、字体、シンボルのウェイト、スタイル、バージョン(以下「タイプフェース」)を複製する為に、最大5 台までのコンピュータ上で、プリンティングソフトウェアと共に使用する目的で、ローマンフォントプログラム及びAdobe Type Manager™ を使用することができます。お客様は、印刷業者その他のサービスビューローに個々のファイルで使用したローマンフォントプログラムの複製物の印刷を依頼する事ができます。またそのサービスビューローは、ファイルを処理するためにローマンフォントプログラムを使うことができます。但しそのサービスビューローが、お客様に対して、その個々のローマンフォントプログラムの使用権を購入したか、あるいは許諾が与えられているということを表明している場合に限ります。
3. ホストソフトウェア
   お客様は、ホストソフトウェアを一つのコンピュータ、あるいは、必要に応じた複数のコンピュータのハードディスク又はその他の記憶装置上にインストールすることができます。また、ホストソフトウェアがネットワーク上での使用やインストールを想定されたものである場合は、次のうちいずれか(両方は不可)を目的として、単一のローカル・エリア・ネットワーク用の単一のファイルサーバー上でインストール・使用されるものとします。
   (I) 必要とされる複数のコンピュータのハードディスクまたはその他の記憶装置に恒久的なインストールをするため。
   (II) そのようなネットワーク上において、ホストソフトウェアを使用するため。ただし、ホストソフトウェアが使用されるコンピュータは、必要に応じた台数に限ります。
4. お客様は、ホストソフトウェアのバックアップコピーを一部作成することができます。但し、そのバックアップコピーはいかなるコンピュータ上においても使用し、又はインストールすることはできません。ホストソフトウェアをインストールしている又は使用しているコンピュータの主ユーザは本ホストソフトウェアを一台のホーム･コンピュータあるいはポータブル・コンピュータにもインストールすることができます。しかしながら、1 つのコンピュータ上でホストソフトウェアが使われている際､時を同じくして別のコンピュータ上で別の人物がホストソフトウェアを使用することをみとめるものではありません。上記制約に関わらず、お客様は、プリンティングソフトウェアが実行できる一つ以上のプリンタで使用する為に、プリンタドライバソフトウェアを必要に応じてコンピュータにインストールすることができます。
5. アドビソフトウェア及びドキュメンテーションはアドビの所有物であり、その構造、編成及びコードは、アドビの価値ある企業秘密です。アドビソフトウェアとドキュメンテーションは、米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約の条項によっても保護されています。お客様は、その他著作権で保護されている文献(例えば本など)と同様にアドビソフトウェア及びドキュメンテーションを取り扱わなければなりません。お客様は、アドビ契約で規定されている場合以外にアドビソフトウェアやドキュメンテーションを複製しないことに同意します。この契約にもとづいてお客様に認められているアドビソフトウェアの複製には、アドビソフトウェア上、またはアドビソフトウェアの中に記載されているものと同じ商標権及びその他の知的財産権の表示が含まれていなければなりません。
   お客様は、アドビソフトウェアやドキュメンテーションを改変、翻案、翻訳しないことに合意します。
6. お客様は、アドビソフトウェアを修正、ディスアセンブル、解読、リバースエンジニアあるいはデコンパイルしようと試みないことに合意します。但し、アドビソフトウェアを他のソフトウェアと相互使用するために必要な情報を得る目的で、アドビソフトウェアをデコンパイルする権利が法により認められる場合がありますが、その場合、お客様は、まず沖データから書面で事前に承認をもらう必要があります。沖データ及びアドビは、そのような使用においてアドビソフトウェアに含まれる所有者の知的財産権が保護されていることを確実にするための妥当な費用を含む(但しこれに限定されない)適切な条件を課すことができます。

7. アドビソフトウェア、ドキュメンテーション及びその複製物の権原及び所有権は、アドビに帰属するものとします。
8. 商標は、商標権者の表示など、容認されている慣行に従って使用するものとします。商標は、アドビソフトウェアによって作成された印刷物であると表示するという特定目的の為にのみ使用することができます。このような商標の使用によって、お客様にその商標権が帰属するものではありません。商標は、沖データによって標記されている商標権所有者の財産です。
9. 上記に記述してある事を除いて、この使用許諾は、お客様に対して、アドビソフトウェアのその他のいかなる知的財産権の使用を認めるものではありません。
10. もし、パッケージ内の製品が、ホストソフトウェアの 2 つ以上の使用環境を含む場合(例:Macintosh® と Windows®)、同じホストソフトウェアで 2 言語以上の翻訳版を含む場合、同じホストソフトウェアが 2 つ以上の媒体に含まれている場合(例:ディスクと CD-ROM)、また、もしくはお客様がホストソフトウェアのコピーを 2 つ以上受取られた場合、お客様がそのようなバージョンを使用する事によって、アドビ契約で認められている許可されているホストソフトウェアの単一バージョンの使用においてアドビ契約で認められている使用数を上回る事はないものとします。尚、お客様がこのパッケージにより、ホストソフトウェアを受け取られる場合にも同条件が当てはまるものとします。
11. 上記に記述されているようなアドビソフトウェアやドキュメンテーションを全て恒久的に譲渡する場合を除いて、お客様は、使用しないソフトウェアや未使用の媒体に含まれるアドビソフトウェアの、バージョンまたはコピーを、賃貸、リース、サブライセンス、貸与、譲渡しないことに合意します。
12. 沖データ及びその代理人は、アドビに代わって、お客様あるいは第三者に、商品性や、特定の目的に対する適合性、権利侵害しない旨の黙示的な保証も含め、いかなる保証や表明も行わず、付与しないものとします。
13. アドビソフトウェアは現状のままでの状態で提供されています。沖データ及びアドビは、アドビソフトウェアの動作が、中断されない、エラーが起こらない、またはお客様のニーズに合っていることについて如何なる保証も致しません。沖データとアドビは、明示または黙示を問わず、制定法やその他で定められているか否かを問わず、第三者の権利侵害の不存在や、商品性、または特定の目的に対する適合性について何らの保証も致しません。アドビソフトウェアまたはアドビソフトウェア関連して生じた、得べかりし利益の喪失、現存利益の喪失及びデータの喪失を含むがこれに限定されない損害(直接損害、間接損害、偶発損害、特別損害、懲罰的損害、結果損害その他一切)に関し、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、沖データ及びアドビはお客様に対して一切責任を負担しません。また、アドビソフトウェアまたはアドビソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及びアドビはお客様に対して一切責任を負担しません。ただし、偶発損害、結果損害、特別損害の排除または制限が、法律により認められていない場合は、本項による制限は適用されません。
14. アドビ契約は、カリフォルニア州法を準拠法とします。但し、同州法の抵触法に関する規則の適用は除外するものとします。アドビ契約は国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しないものとし、その適用は明示的に排除されます。もし、アドビ契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、アドビ契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。お客様は、本ソフトウェアを米国および日本の輸出管理法、その他の関連法令、規則で禁止されている国へ輸出せず、また、関連法令、規則で禁止されている様態で使用しないものとします。お客様は、適切な米国及び日本政府の輸出許可を得ずにアドビソフトウェアやアドビソフトウェアから作られた商品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。
15. お客様は、アドビ契約にアドビソフトウェア、フォントプログラム、タイプフェースおよび商標の使用に関連した条文が含まれている限り、米国デラウェア州法に準拠して設立され、345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 に所在するアドビシステムズ社がアドビ契約に対する第三受益者であるということをここに通知されたものとします。この規定は、アドビの利益の為に、明確に規定されるもので、沖データに加えアドビも権利行使できるものとします。

NOTICE TO GOVERNMENT END USERS: The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein. This product contains an implementation of LZW licensed under U.S.Patent 4,558,302.

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Acrobat Reader の使用について
Acrobat Reader は沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Acrobat Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAcrobat Reader の使用を許諾されることになります。

目　次

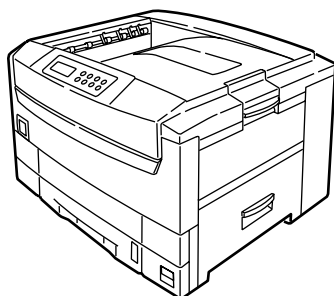
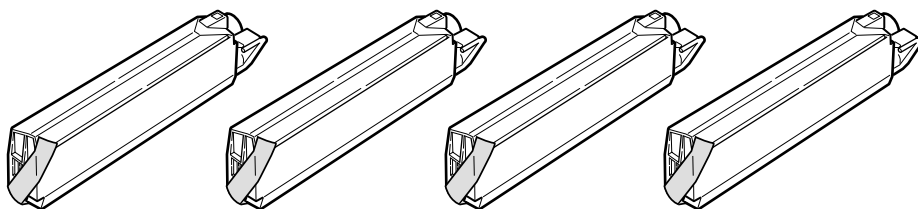
1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約72Kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。

☐ プリンタ（本体）

☐ トナーカートリッジ（4 個）

☐ プリンタソフトウェア CD-ROM
☐ LED レンズクリーナ
☐ 黒いビニール袋（4 枚）
☐ 電源コード
☐ 保証書・ご愛用者登録カード
☐ ユーザーズマニュアル(セットアップ編)(本書)
☐ ユーザーズマニュアル(リファレンス編)
☐ ユーザーズマニュアル(ネットワーク編)
☐ ペーパーサイズプレート

☐ クイックガイド
☐ クイックガイド専用袋
☐ イーサネットケーブル用コア

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- イメージドラムカートリッジはプリンタ内部にセットされています。
- 梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

MICROLINE プリンタの特長

1200DPI *1の高画質

1インチあたり1200個の発光ダイオードを集合したLEDヘッドを搭載。スムージング技術に依存しない真の1200DPIの高解像度、高画質を実現しています。

ポストスクリプト3 *2とPCL5cを搭載

デスクトップパブリッシングの標準ページ記述言語、日本語対応ポストスクリプト3を搭載。本格的なDTP印刷ができます。また、PCL5c言語も搭載しています。

アウトラインフォントを内蔵

PSモードでは日本語5書体 *3と欧文136書体 *4のアウトラインフォントを内蔵。大きな文字もギザギザのない高品質な印刷ができます。PCLモードでは日本語2書体 *5と欧文80書体のアウトラインフォントを内蔵しています。

高速印刷

印刷制御部にPowerPC750プロセッサを採用。印刷処理を高速に行うことができます。4連LEDヘッドを使用したシングルパスカラー方式で印刷することによりA4用紙（A4横送り、片面印刷時）をカラー印刷では最大30枚/分（コピーモード）、モノクロ印刷では最大37枚/分（コピーモード）で印刷できます。

多彩な給紙機能

普通紙550枚（連量70kg紙）を連続給紙する用紙カセットと、はがき・封筒・ラベル紙・OHPシートを連続給紙できるマルチパーパストレイを標準装備。オプションで普通紙550枚の連続給紙が可能なセカンド/サードトレイユニット、普通紙1,650枚の連続給紙が可能な大容量トレイ、用紙の両面に印刷できる両面印刷ユニットを用意しています。

インタフェースの自動切り替え

パラレルとUSB、ネットワーク のインタフェースを装備。データの来た順に自動的に切り替わります。

環境対応

交換時期の異なるトナーとイメージドラムを別ユニットに分離。廃棄物を最小限に抑え、地球環境の保全に十分配慮しています。さらに、待機時の電力消費を抑える省電力モードやオゾンフリープロセスなど使う人に優しい設計です。

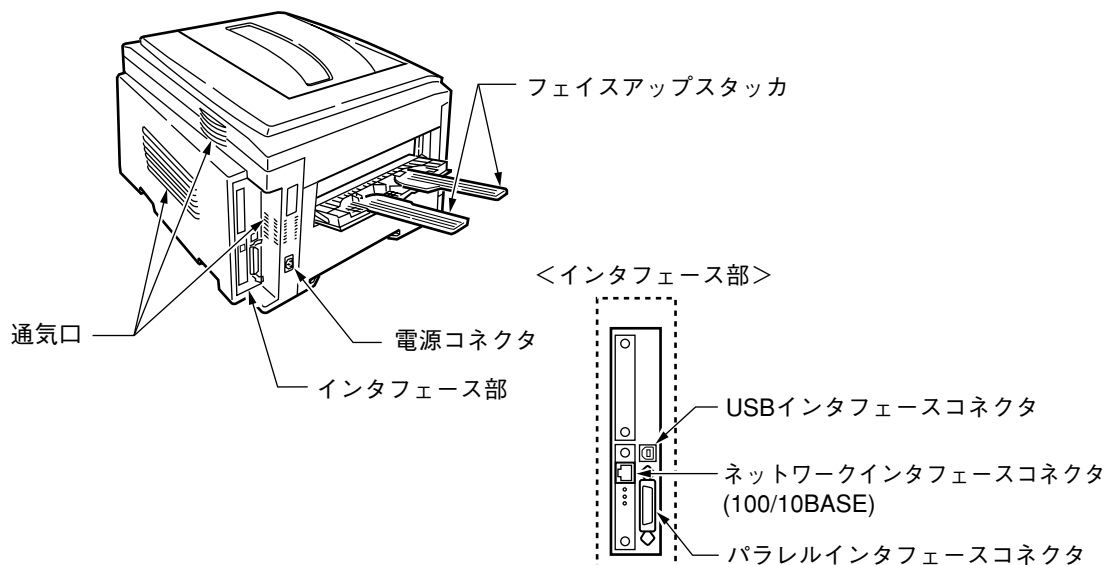
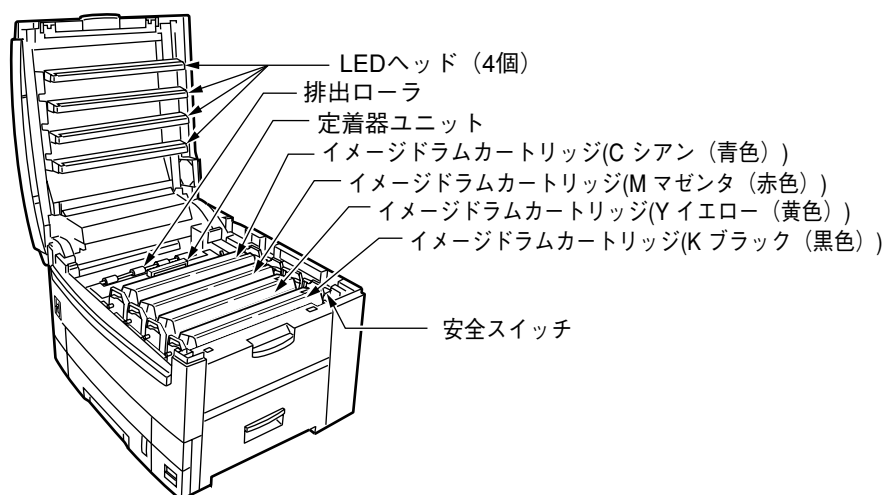
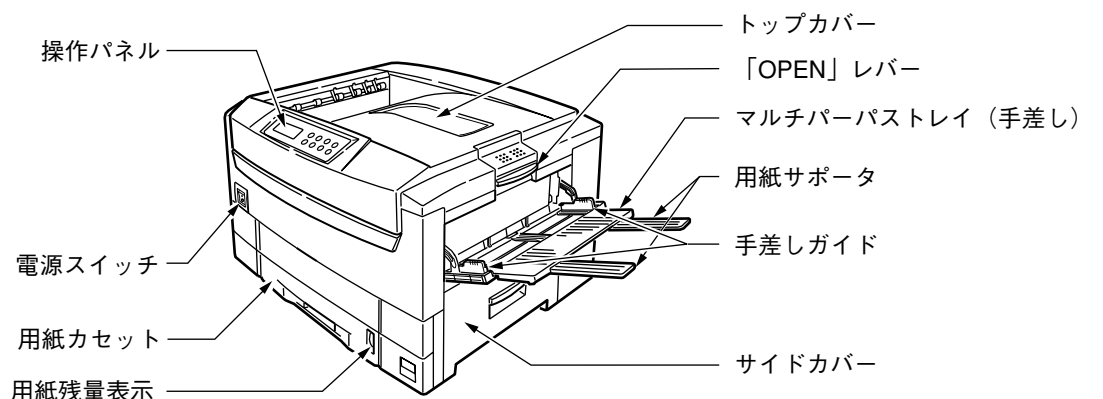
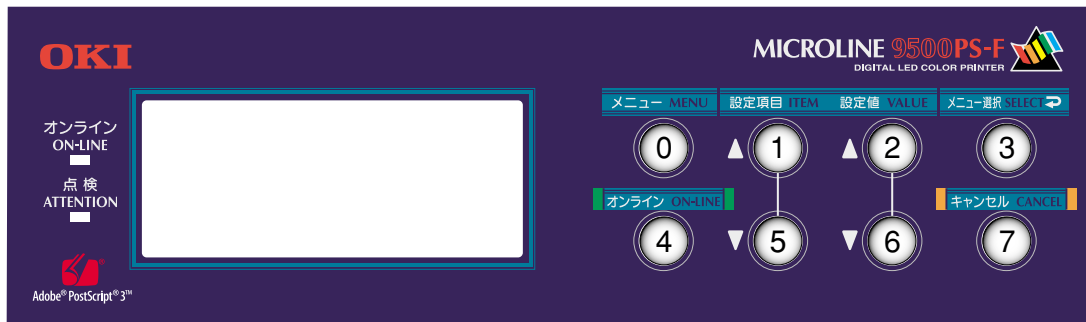
*1 : ML9300PSは600dpi。
*2 : Webプリントには対応していません。ダイレクトPDFプリントにはHDDが必要です。
*3 : ML9500PS, ML9300PSは日本語2書体。
*4 : OSによって使用できる欧文書体に制限があります。
*5 : ML9500PS-FではPCL日本語2書体はありません。

プリンタ各部の名前

LEDヘッド（4個）
排出ローラ
定着器ユニット
イメージドラムカートリッジ(C シアン（青色）)
イメージドラムカートリッジ(M マゼンタ（赤色）)
イメージドラムカートリッジ(Y イエロー（黄色）)
イメージドラムカートリッジ(K ブラック（黒色）)
安全スイッチ

フェイスアップスタッカ
通気口
電源コネクタ
インタフェース部

<インタフェース部>

USBインタフェースコネクタ
ネットワークインタフェースコネクタ
(100/10BASE)
パラレルインタフェースコネクタ

操作パネル

「オンライン」ランプ（緑）

点灯：データを受信できる状態です。
（オンライン）
点滅：受信したデータを処理しています。また、ポストスクリプトエラーが発生したときも点滅します。
消灯：データを受信できない状態です。
（オフライン）

「点検」ランプ（赤）

点灯：エラーが発生しました。印刷は可能です。
点滅：エラーが発生しました。印刷できません。

表示部

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。1行24文字で2行に表示します。

0「メニュー」スイッチ

スイッチを短く押すとメニューモードになり、表示部にカテゴリを表示します。
メニューモード中に押すと次のカテゴリを表示します。2秒以上押すと前のカテゴリを表示します。

1「設定項目＋」スイッチ

メニューモード中に押すと設定項目を一つ進めます。2秒以上押すと早送りします。

2「設定値＋」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ進めます。
2秒以上押すと早送りします。

3「メニュー選択」スイッチ

メニューモード中に押すと表示中の設定値を保存し、表示部の右端に“＊”を表示します。

4「オンライン」スイッチ

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。
メニューモード中に押すと［オンライン］に戻ります。［nnn：テサシ　インサツ］、［nnn：ttt　ヨウシガ　チガイマス］、［nnn：ttt　サイズガ　チガイマス］表示中に押すと印刷します。

5「設定項目－」スイッチ

メニューモード中に押すと設定項目を一つ戻します。2秒以上押すと早戻しします。

6「設定値－」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ戻します。
2秒以上押すと早戻しします。

7「キャンセル」スイッチ

処理中の印刷ジョブを削除します。メニューモード中に押すと、［オンライン］に戻ります。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　　：　10～32°C
  周囲湿度　　：　20～80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- [デンゲンヲキリ　シバラク　オマチクダサイ/126:ケツロ　エラー] 表示が出た場合、結露の可能性があります。
- 結露したときは、プリンタが周囲の温度になじむまで数時間から半日程度放置してから電源を入れてください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

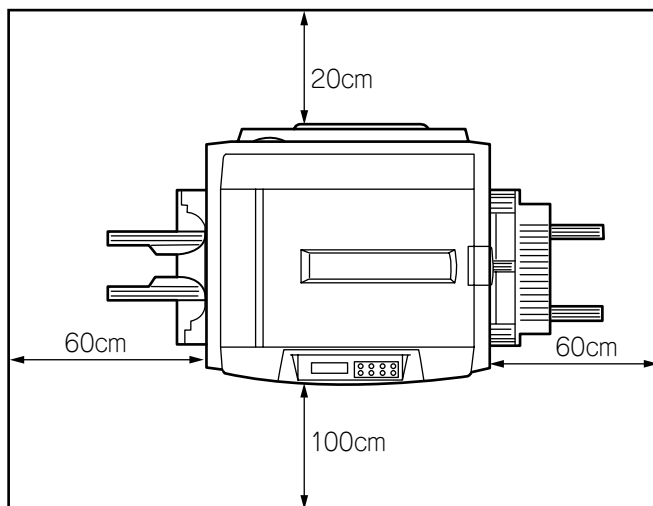
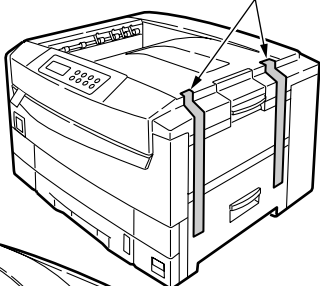
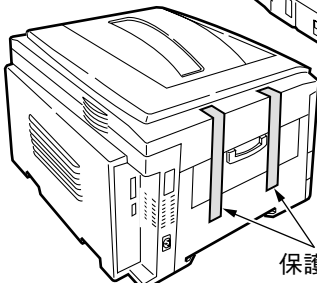
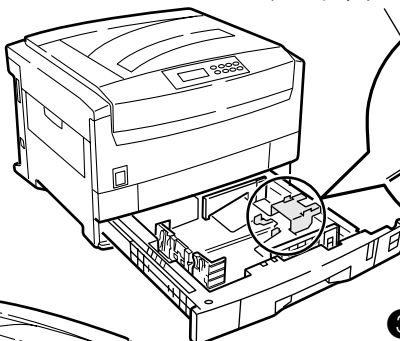
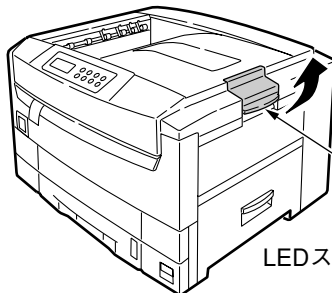
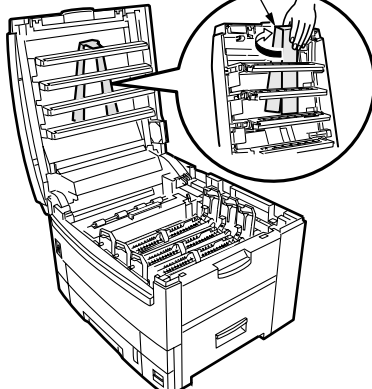
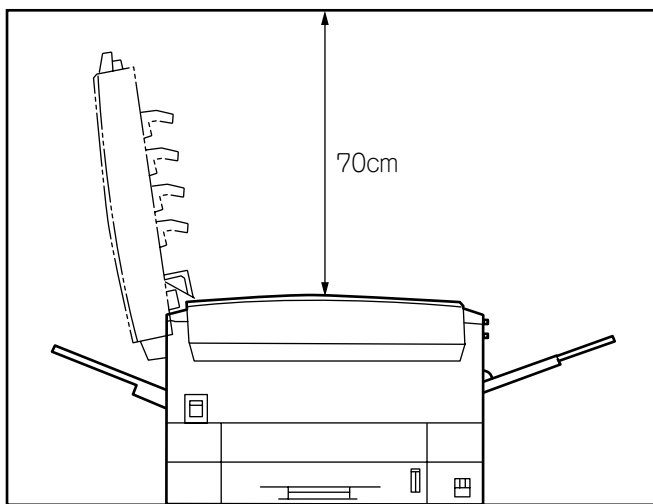
- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約72kgありますので、3人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

付属品を取り付けます

1 保護具を取り外します。

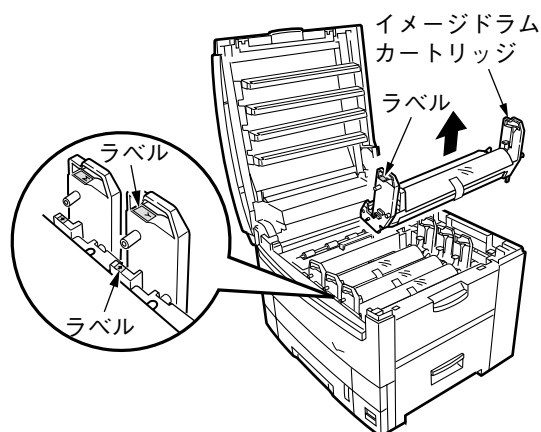
❶ プリンタ右側面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

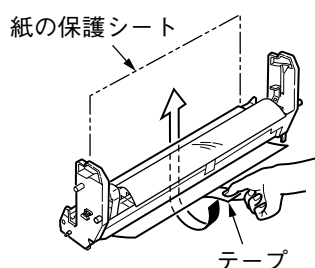
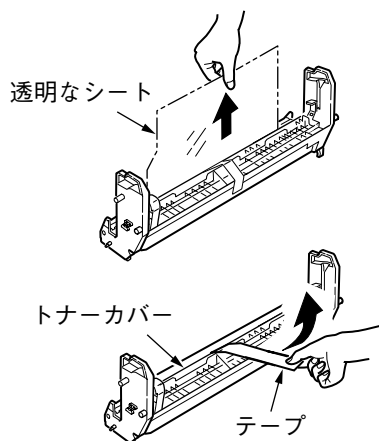
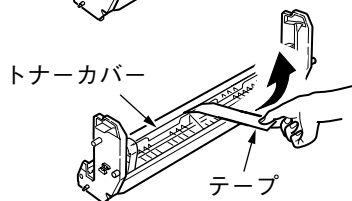
❷ プリンタ左側面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

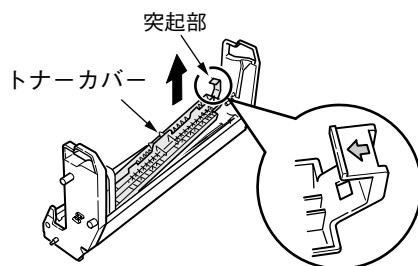
❸ 用紙カセットを引き出し、用紙カセット内プレートのシートリテーナ（オレンジ色）を取り外します。

❹ 「OPEN」レバーを押し上げ、トップカバーを開きます。

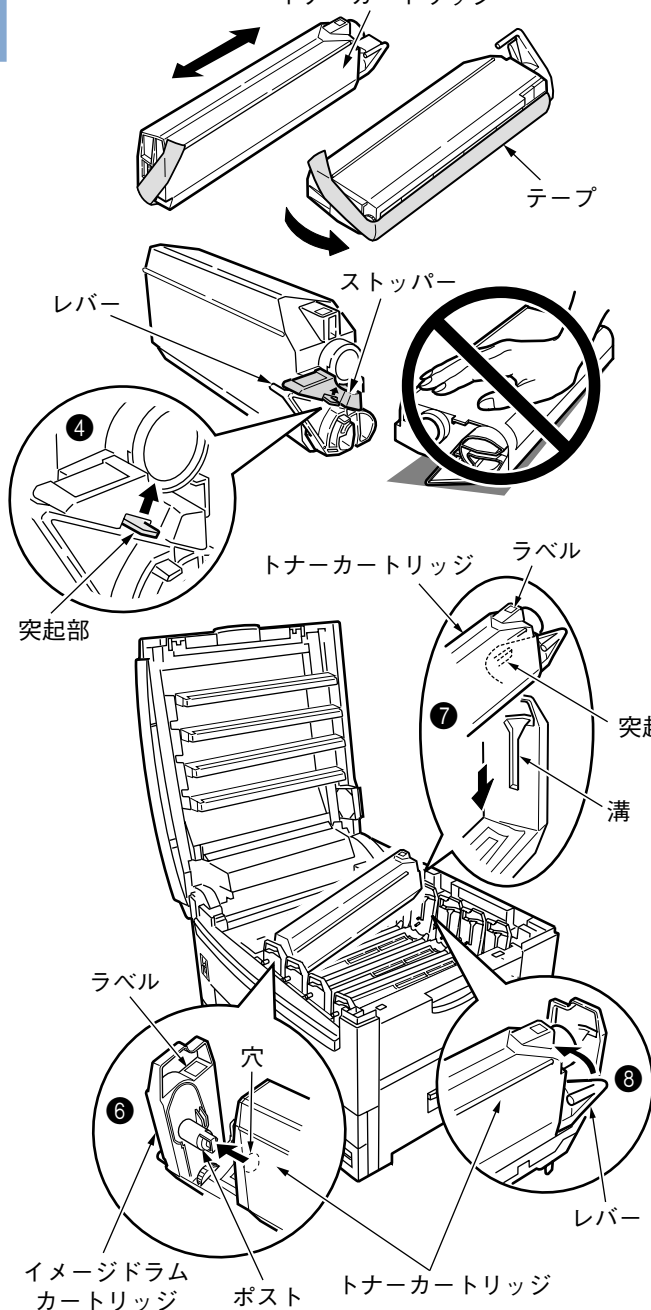
❺ LEDストッパー（オレンジ色）を引き出します。

2 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに取り出します。

- トナーの飛散に注意して作業してください。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❷ 紙の保護シートをとめているテープをはがし、イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

❸ 透明なシートを矢印の方向に引き抜きます。

❹ トナーカバー（オレンジ色）を固定しているテープをはがし、突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

メモ　トナーカバーは不燃物として処理してください。

❺ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❻ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに戻します。

3 トナーカートリッジをセットします。

❶ トナーカートリッジ（4個）を包装袋から取り出します。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジのレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

❹ レバーのストッパー（オレンジ色）を外します。突起部を矢印方向に押すと外れます。

注 トナーカートリッジを裏返した状態で荷重をかけないでください。レバーが動き、トナーがこぼれる場合があります。

❺ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

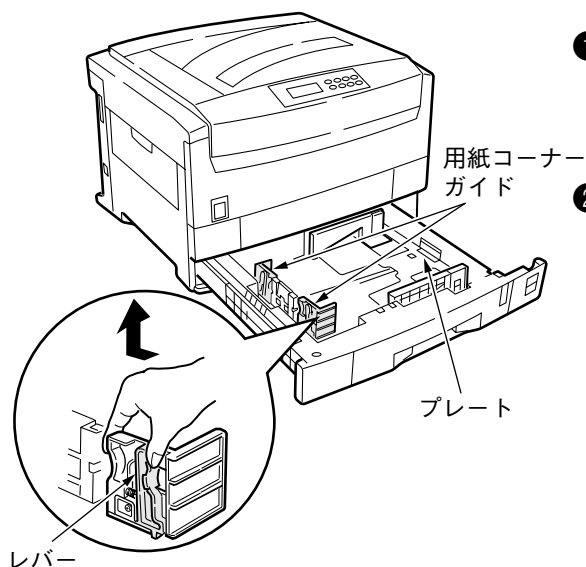
❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼ トナーカートリッジの突起をイメージドラムカートリッジの溝に合わせしっかり押し込みます。

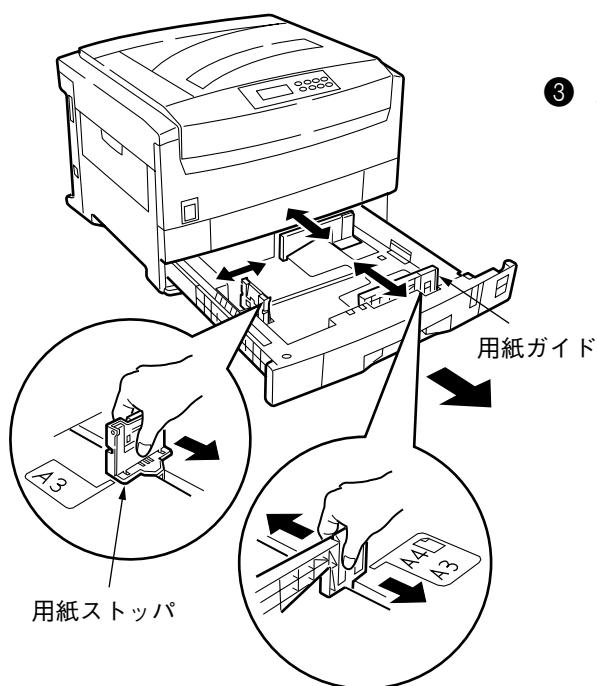
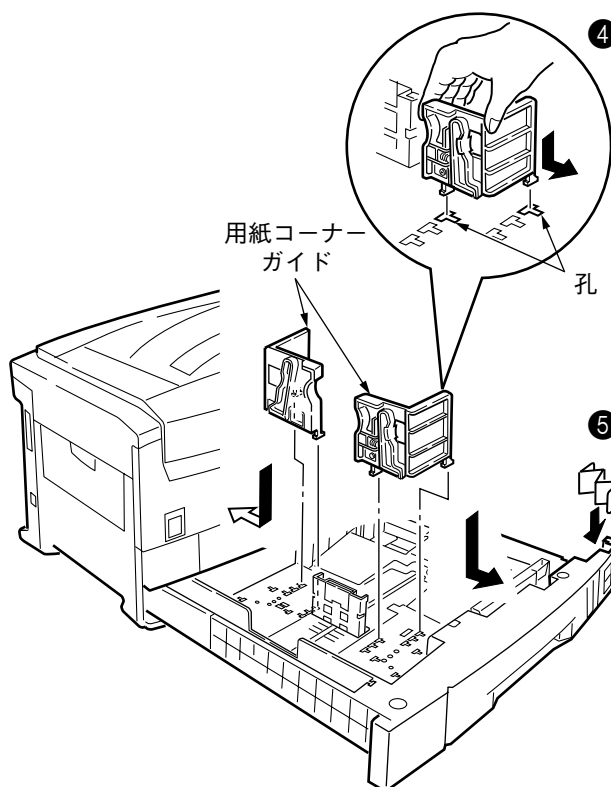
❽ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❾ トップカバーを閉じます。

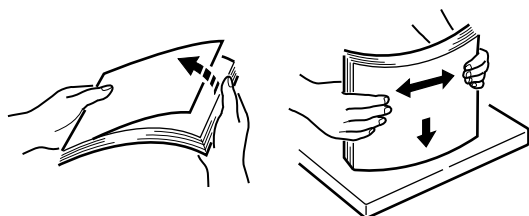
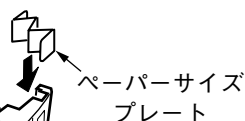
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。
- トナーカートリッジを取り付けた後に、操作パネルの［トナーヲ　イレテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、上記の手順に従ってトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- ［トナーセンサエラー］が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

4 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

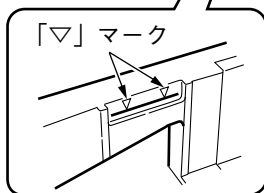
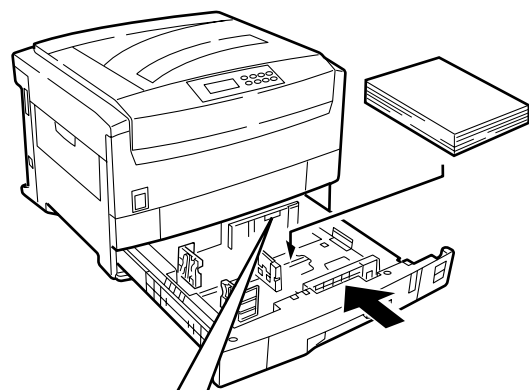
注 プレートについているコルクは、はがさないでください。

❷ 使用する用紙サイズがB4やリーガル以上の場合には、一旦、用紙コーナーガイド（2ケ所）を取り外します。
用紙コーナーガイドのレバーをつまみ、内側へずらし、上へ上げると外れます。

❸ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❹ 使用する用紙サイズがB4、A3、A3ワイド、リーガル、タブロイド、タブロイドエクストラの場合には用紙コーナーガイド（2ケ所）を取り付けます。
用紙コーナーガイドを用紙サイズの位置に合わせて差し込み、押し付けながらパチンと音がするまで矢印方向に動かします。

注 A3ノビの場合には、用紙コーナーガイドは使用しません。

❺ ペーパーサイズプレートをセットします。

❻ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

❼ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの右側によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量70kg紙で550枚）

❽ 用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　:　100V ± 10%
  電源周波数　:　50Hz または 60Hz ± 2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は 1,600W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

⚠警告

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 16A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

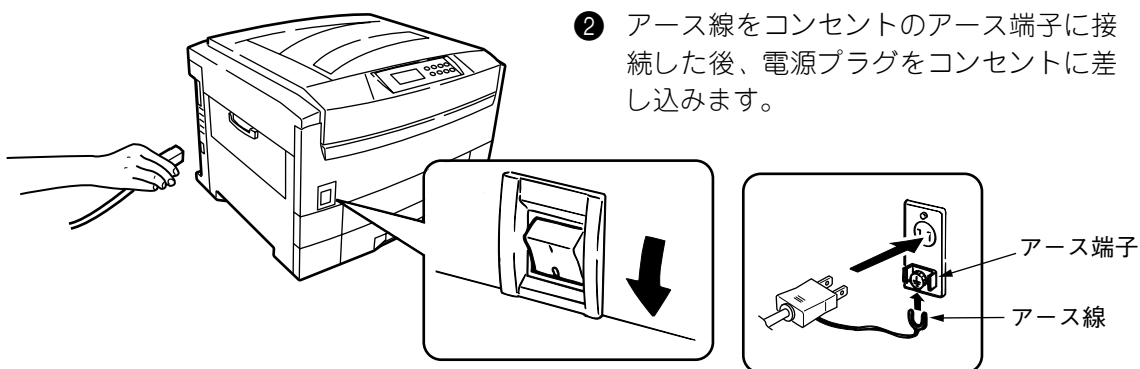
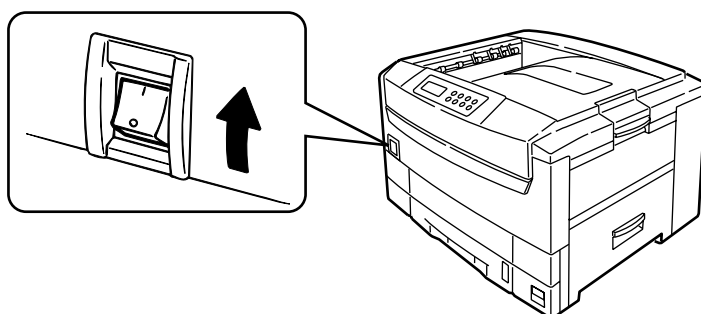
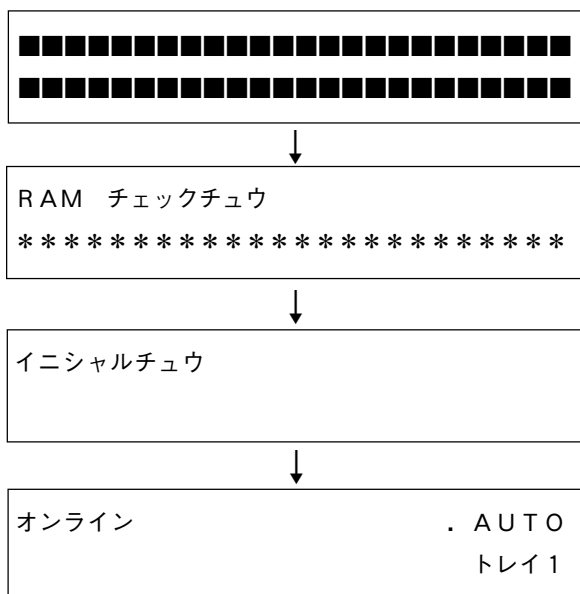
注 寒いところから暖かい室内へプリンタを搬入した場合などに、外気温とプリンタの装置温度の違いによって、プリンタ内部に結露が発生する場合があります。
操作パネルに［デンゲンヲキリ　シバラク　オマチクダサイ /126：ケツロ　エラー］表示が出た場合は電源を切って、プリンタが室温に馴染むまで、数時間から半日程度放置後、電源を入れてください。

1章

1　電源コードを接続します。

注　電源スイッチが OFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2　電源スイッチの ON（｜）を押します。

操作パネルに次のように表示され、完全に起動すると［オンライン］表示になります。

電源を切ります

 印刷終了後、5秒以上待ってから電源を切ってください。

ML9500PS-Fとオプションの内蔵ハードディスクを取り付けたML9500PS、ML9300PSは、いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

注

- いきなり電源を切ると、内蔵ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。
- ML9500PS、ML9300PSでは、オプションの内蔵ハードディスク装着時にのみ、[シャットダウン　メニュー]が表示されます。

❶ 0 を数回押し、[シャットダウン　メニュー]を表示します。

❷ 3 を押し、[シャットダウン　スタート／ジッコウ]を表示します。

❸ 3 を押します。

[シャットダウン]と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❹ [デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら、電源スイッチのOFF（O）を押します。

メニューマップ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

1. トレイにA4用紙をセットします。
2. 0 を数回押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。
3. 1 または 5 を押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。
4. 3 を押します。

   メニューマップ印刷が開始されます。

（サンプル）

MenuMap　　MICROLINE 9500PS-F

Printer Serial Number:　プリンタ管理番号:
CU version:B1.00 [I00.65 S2.2.5n2 B02.41(FA) PPC750CXe 600MHz 00082214 00020010 F32 J0]
PU version:00.01.09 [PI02.09 L000.08.13 DU00.73.36 T202.00.02 T302.00.02 T402.00.02 T502.00.02 FI00.01.05]
PCL Program version:01.30 [04.16 X00.27 P F]
PS Program version:3011.106,PS61　トレイ1:A4 横送り　DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:192 MB　トレイ2:A4 横送り　DIMM Slot B:Morisawa font [PS:00.10]
Flash Memory:4 MB [F32]　トレイ3:A4 横送り
HDD:6.01 GB [F32]　トレイ4:A4 横送り
JP1 P0E0　トレイ5:A4 横送り　OutputDevice:Finisher
C:0 M:0 Y:0 K:0

印刷ジョブメニュー	
パスワード入力	

インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCLフォント印刷	
PSフォント印刷	
DEMO1	
エラーログ印刷	

シャットダウン メニュー	
シャットダウン スタート	

印刷メニュー	
コピー枚数	1
両面印刷	オフ
出力ビン	スタンダード ビン
パンチ	オフ
ホチキス	オフ
ジョブオフセット	オン
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	用紙違いの時
用紙チェック	有効
OHP 検出	有効
解像度	1200DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー	
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	自動
トレイ2用紙タイプ	普通紙
トレイ2用紙厚	自動
トレイ3用紙タイプ	普通紙
トレイ3用紙厚	自動
トレイ4用紙タイプ	普通紙
トレイ4用紙厚	自動
トレイ5用紙タイプ	普通紙
トレイ5用紙厚	自動
MPトレイ用紙サイズ	A4 横送り
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	自動
用紙サイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

カラーメニュー	
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
インクシミュレーション	オフ
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効

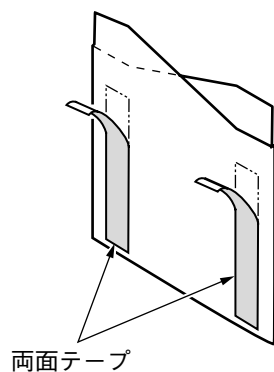
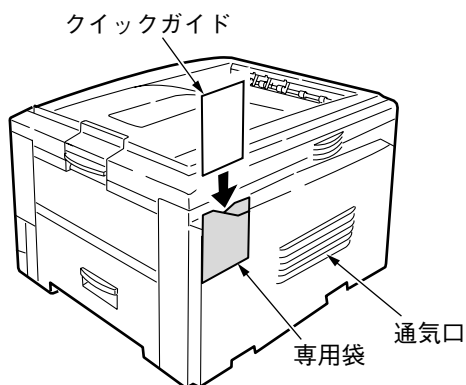
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	60 分
動作モード	自動
USB PSプロトコル	RAW
NETWORK PSプロトコル	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語

PCL エミュレーション	
使用フォント	内蔵フォント
フォントNo.	I000
フォントピッチ	10.00 CPI
シンボルセット	PC-8
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン

セントロ メニュー	
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効

クイックガイドの収納

クイックガイド専用の袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドをしまいます。

1 クイックガイド専用袋を裏側にして、両面テープ（2ヶ所）をはがします。

2 専用袋をプリンタに貼り付けます。

注 プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

2 Windowsをセットアップします

使用するプリンタドライバと接続方法を決めます

注 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 使用するプリンタドライバを選択します。

Windows 用プリンタドライバには、次の２種類があります。

メモ EPS 形式のファイルを印刷する場合は、PS プリンタドライバを使用してください。

システム環境	PSプリンタドライバ	PCLプリンタドライバ
WindowsXP	Windows付属	沖データ製
WindowsMe	Adobe製	
Windows98		
Windows95		
Windows2000	Windows付属	
WindowsNT4.0	Adobe製	

2 システム環境から接続方法を選択します。

システムによって、接続可能なインタフェースが異なります。

○：使用可能
×：使用不可

接続方法 / システム環境	パラレル インタフェース	USB インタフェース	ネットワーク
WindowsXP	○	○	○
WindowsMe	○	○	○
Windows98	○	○	○
Windows95	○	×	○
Windows2000	○	○	○
WindowsNT4.0	○	×	○

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

パラレルインタフェースを利用する場合

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PS プリンタドライバはサービスパック 5 以上）
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でパラレルインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51 では動作しません。
- WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。

メモ

- コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
- パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。（最長 1.8m）

USB インタフェースを利用する場合

- WindowsXP
  WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

- WindowsMe/98
  WindowsMe/98 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

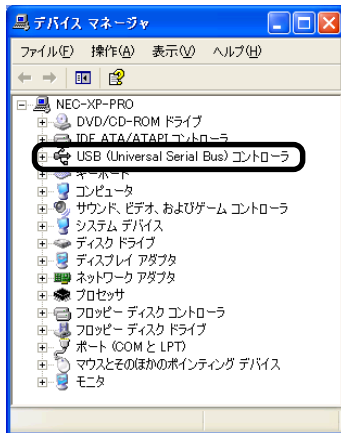
- Windows2000
  Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

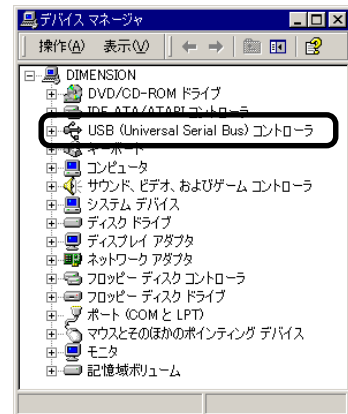
- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindowsMe/98での動作は保証できません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51 では動作しません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI MICROLINE ****」「OKI MICROLINE ****（コピー 2）」「OKI MICROLINE ****（コピー 3）」（**** はプリンタ名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。

メモ　USB ケーブルは長さ 2m 以内のものをお使いください。

メモ　お使いのコンピュータが USB に対応しているか確認できます。

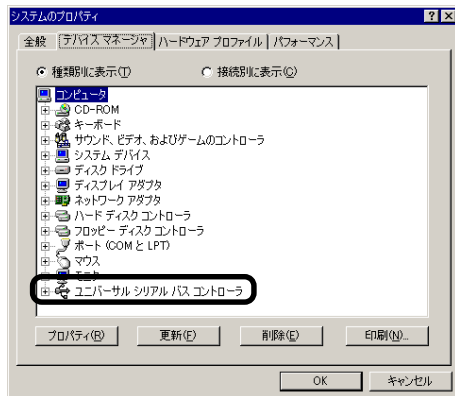
〈WindowsXP〉

［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈Windows2000〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［デバイスマネージャ］タブを開きます。

（WindowsMe の画面）

2
章

ネットワークインタフェースを利用する場合

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PS プリンタドライバはサービスパック 5 以上）
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

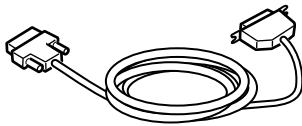
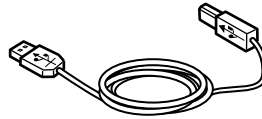
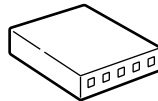
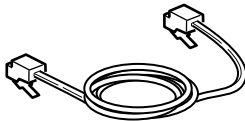
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51 では動作しません。
- WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。

イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

ケーブルを接続します

1 使用するケーブルが、パラレルケーブルかUSBケーブルかイーサネットケーブルかを確認します。

お使いのコンピュータでそれぞれのケーブルが使用できるかどうかは、「動作環境」（29ページ）をご覧ください。

〈パラレルケーブル〉

〈USBケーブル〉

〈イーサネットケーブルとハブ〉

2 プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

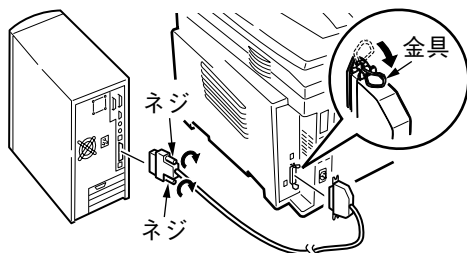
メモ

- プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（25ページ）をご覧ください。
- USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

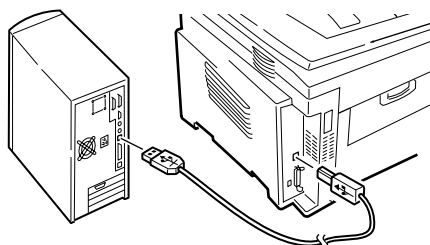
2
章

3 コンピュータとプリンタを接続します。

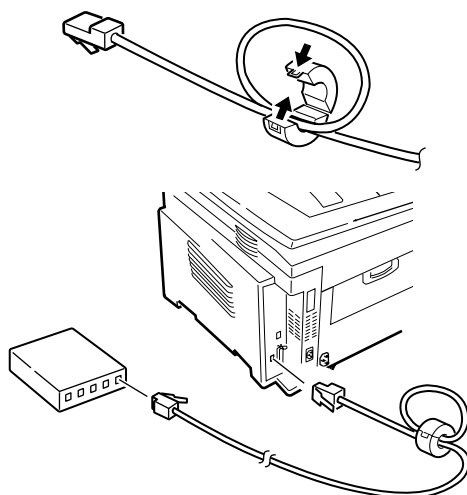
プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブル、USB2.0 仕様の USB ケーブル、またはイーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈パラレルインタフェースを利用する場合〉

① パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

② パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

〈USB インタフェースを利用する場合〉

① USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

② USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

〈ネットワークインタフェースを利用する場合〉

① プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

② イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

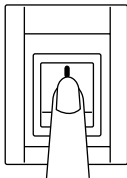
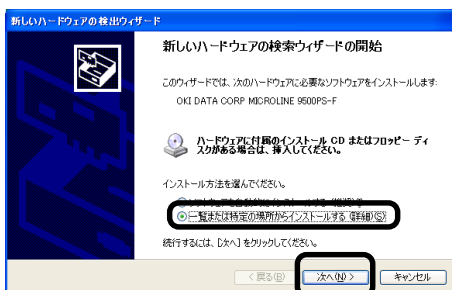
③ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

WindowsXP をセットアップします

- WindowsXP をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- パラレルインタフェース、USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストールセットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- 2種類のプリンタドライバ（PS プリンタドライバとPCL プリンタドライバ）をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバをプリンタのインストールでセットアップしてください。（40 ページ）
- ネットワークのセットアップ手順は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）に記載しています。ネットワークを利用する場合は、ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）をご覧ください。

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

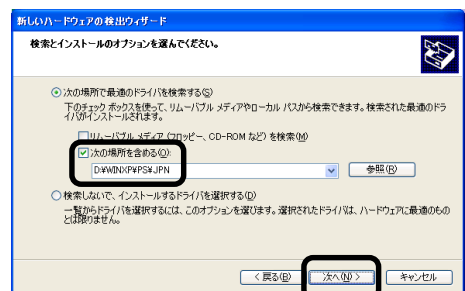
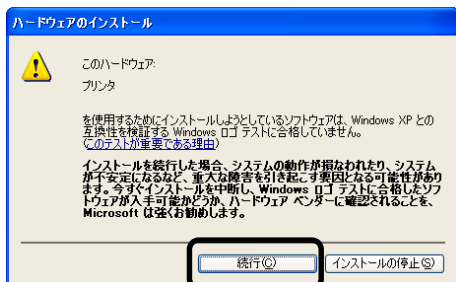
❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「WindowsXP で新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（53 ページ）へ進みます。

❸ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❹ ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックを外します。

❺ ［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PCL¥JPN
　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

2
章

❻ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⓫へ進みます。

❼ ［完了］をクリックします。

❽ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❾ 「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

❿ PSプリンタドライバの場合はプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［デバイスの設定］タブの［出力プロトコル］で［TBCP］を選択して、［OK］をクリックします。

セットアップは完了です。

☞ ❻からの続き

⓫ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓬ ［コピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PCL¥JPN
　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

⓯ 「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⑯ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［デバイスの設定］タブの［出力プロトコル］で［TBCP］を選択して、［OK］をクリックします。

セットアップは完了です。

2章

プリンタのインストールでセットアップします

❶ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します] の [プリンタとFAX] をクリックします。

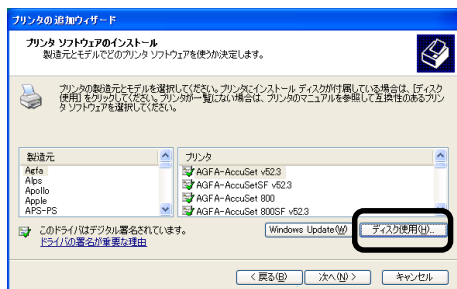
❸ [プリンタのタスク] - [プリンタのインストール] をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ] をクリックします。

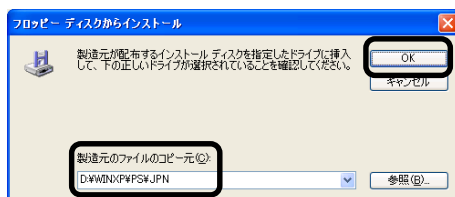
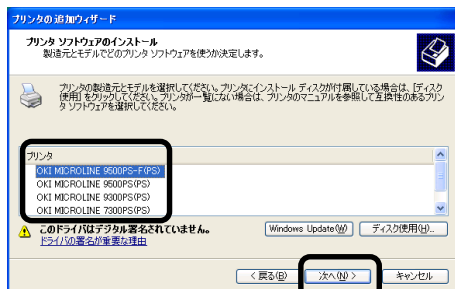
❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックは外してください。

❻ 「次のポートを使用」画面で [LPT1:(推奨プリンタポート)] または [USBxxx] (xxxはポートの番号) を選択し、[次へ] をクリックします。

❼ [ディスク使用] をクリックします。

❽ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

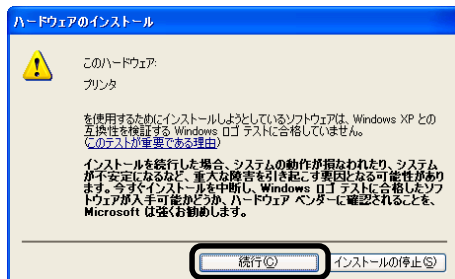
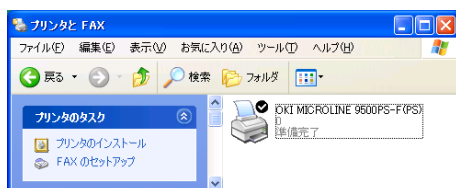
❾ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

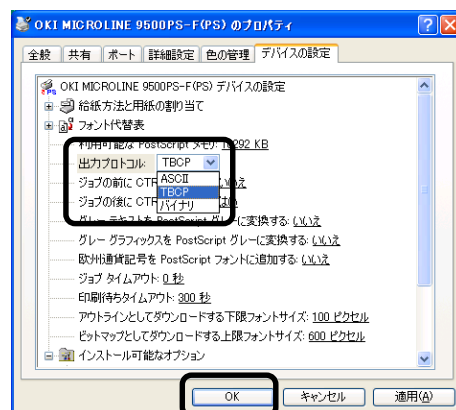
PS ドライバを使用する場合
D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
D:¥WINXP¥PCL¥JPN
(CD-ROM ドライブが D:の場合)

❿ プリンタ名を選択し、[次へ] をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか?] で [いいえ] を選択し、[次へ] をクリックします。

⓭ [完了] をクリックします。

⓮ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

⑮ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［デバイスの設定］タブの［出力プロトコル］で［TBCP］を選択して、［OK］をクリックします。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 をセットアップします

- Windows2000/NT4.0 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows95で、バージョンが「4.00.950」または「4.00.950a」の場合、Internet Explorer4.0以上がインストールされていないと、セットアップププログラムでのセットアップができません。Internet Explorer を 4.0 以上にアップデートしてから、セットアップを行ってください。(Windows95のバージョンは、[マイコンピュータ] を右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択し、[情報] タブで確認することができます。)
- USBインタフェースで接続して2種類のプリンタドライバ(PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ) をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバを接続先のポートを [FILE] としてセットアップして、セットアップ後にポートを変更してください。
- ネットワークのセットアップ手順は、ユーザーズマニュアル (ネットワーク編) に記載しています。ネットワークを利用する場合は、ユーザーズマニュアル (ネットワーク編) をご覧ください。

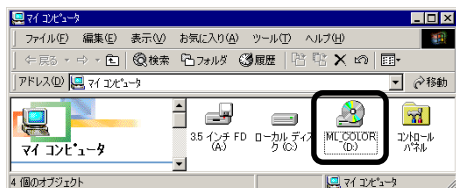
1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル] をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

2 セットアップププログラムを起動します。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

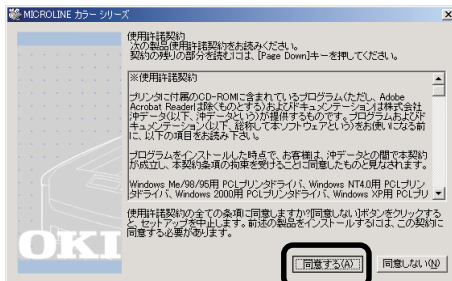
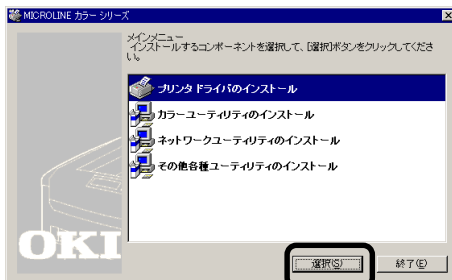
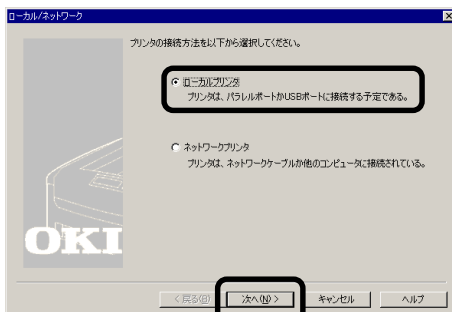
❷ [マイコンピュータ] を開きます。

❸ [ML_COLOR] アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

setup

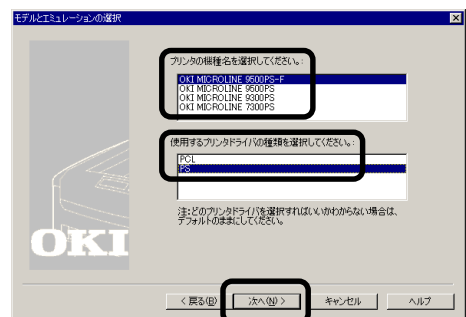
セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❷［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❸［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「ユーザーズマニュアル（ネットワーク編）」をご覧ください。

❹ポートを選択し、［次へ］をクリックします。

USBインタフェースで接続して2種類のプリンタドライバ（PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ）をお使いになりたい場合、2つ目のプリンタドライバをインストールするときは、［FILE］を選択してインストールを行ってください。インストール完了後、プリンタフォルダでプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［詳細］タブの［印刷先のポート］で［OP1USBx］（Windows2000では［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］）を選択してください。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

WindowsMe/98でUSBインタフェースで接続する場合は、ファイルのコピーが行われます。

WindowsMe/98でUSBインタフェースで接続する場合

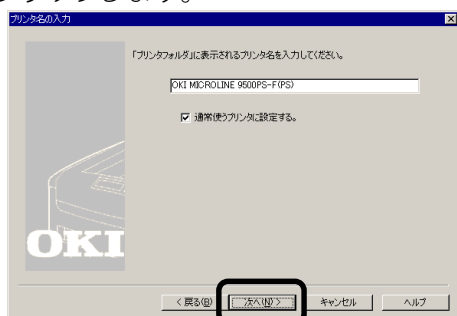
☞ 手順4（46ページ）へ進みます。

Windows2000でUSBインタフェースで接続する場合

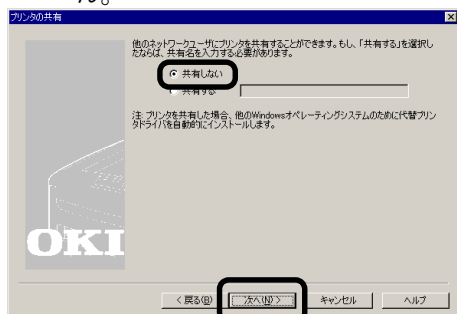
☞ ❽に進みます。

2章

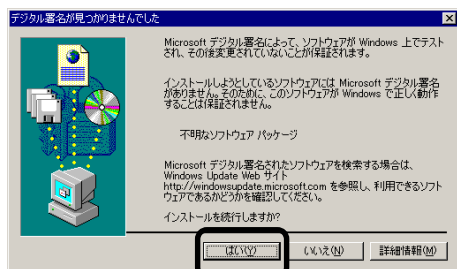
2
章

❻ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98/95 でパラレルインタフェースで接続する場合は、ファイルのコピーが行われます。

❼ Windows2000/NT4.0 の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 WindowsMe/98/95 では表示されません。

WindowsNT4.0 では、ファイルのコピーが行われます。

❽ Windows2000 の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

注 WindowsMe/98/95/NT4.0 では表示されません。

ファイルのコピーが行われます。

USB インタフェースで接続する場合
☞ 手順 4（46 ページ）へ進みます。

❾ [完了] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合
☞ ⓭ に進みます。

❿ [終了] をクリックします。

⓫ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⓬ Windows2000 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[デバイスの設定] タブの [出力プロトコル] で [TBCP] を選択して、[OK] をクリックします。

セットアップは完了です。

☞ ❾ からの続き

⓭ 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する] を選択し、[完了] をクリックします。

Windowsが再起動されます。

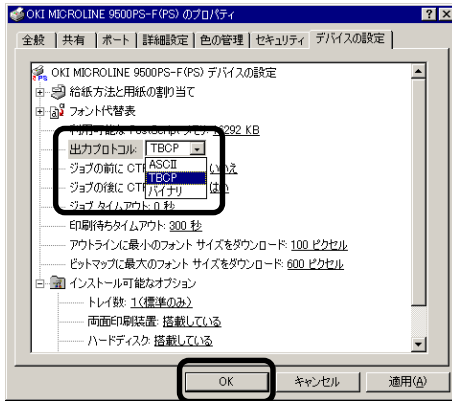
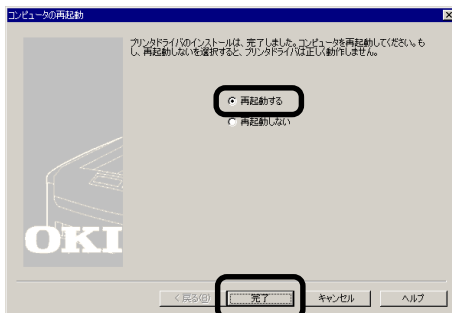
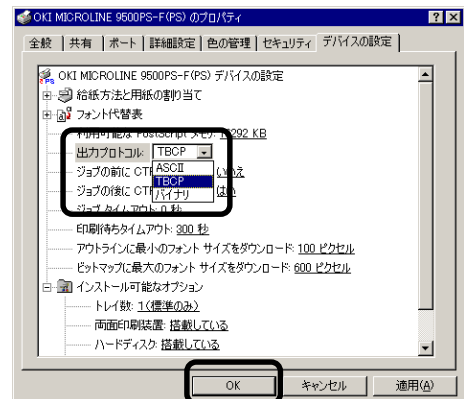
⓮ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

⓯ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

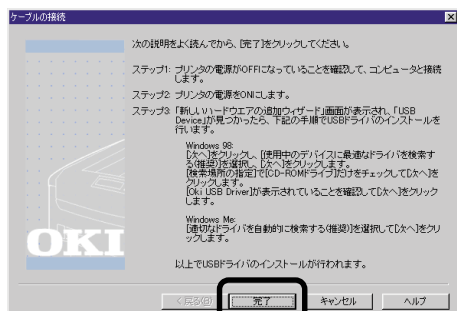
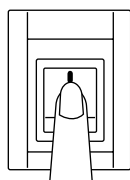
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⓰ Windows2000 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[デバイスの設定] タブの [出力プロトコル] で [TBCP] を選択して、[OK] をクリックします。

セットアップは完了です。

2
章

4 USB ドライバをインストールします。

・ USB インタフェースを利用する場合のみご覧ください。
・ パラレルインタフェースを利用する場合は、この手順は必要ありません。

❶ 以下の画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❸ に進みます。

❷ プリンタの電源を ON にします。

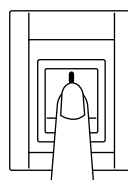
USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000 の場合
☞ 47 ページに進みます。
WindowsMe の場合
☞ 48 ページに進みます。
Windows98 の場合
☞ 49 ページに進みます。

☞ ❶ からの続き

❸ 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する] を選択し、[完了] をクリックします。

Windows が再起動されます。

❹ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

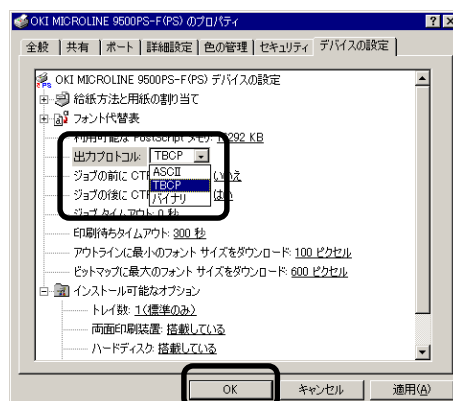
Windows2000 の場合
☞ 47 ページに進みます。
WindowsMe の場合
☞ 48 ページに進みます。
Windows98 の場合
☞ 49 ページに進みます。

Windows2000 の場合

❶ システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1～2分かかることがあります。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

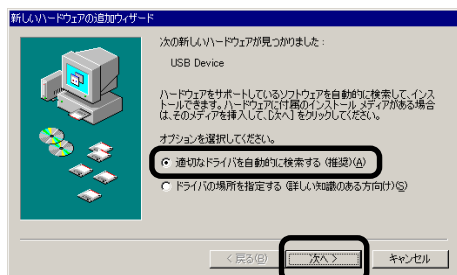
❸ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［デバイスの設定］タブの［出力プロトコル］で［TBCP］を選択して、［OK］をクリックします。

セットアップは完了です。

WindowsMe の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従って USB ドライバをインストールします。

2章

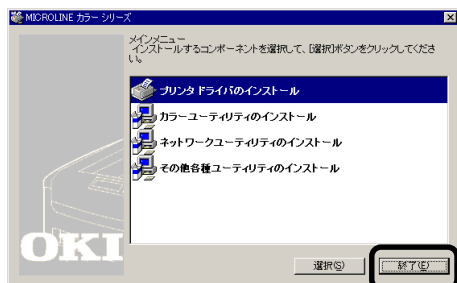
> 新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（54 ページ）をご覧ください。

❶ ［適切なドライバを自動的に検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❷ ［完了］をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

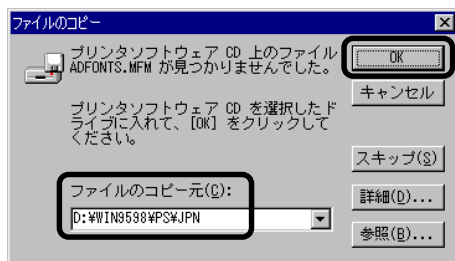
> 「ディスクの挿入」が表示されたら？
> ☞ ❹ へ進みます。

❸ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面が表示されている場合は、［終了］をクリックします。

> ［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

> ☞ ❷ からの続き

❹ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

❺ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを利用する場合 　D:¥WIN9598¥PS¥JPN PCL プリンタドライバを利用する場合 　D:¥WIN9598¥PCL¥JPN 　（CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

Windows98 の場合

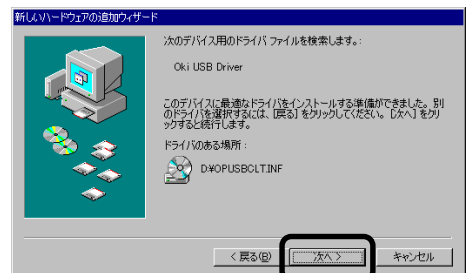
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従って USB ドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（56 ページ）をご覧ください。

❶ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

❷ ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

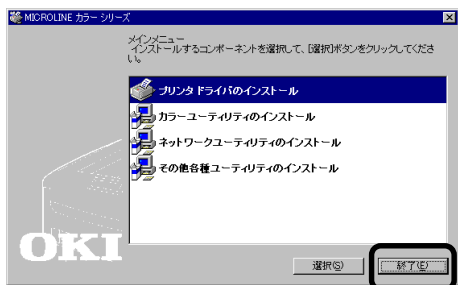
❸ ［CD-ROM ドライブ］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

❹ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❺ ［完了］をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

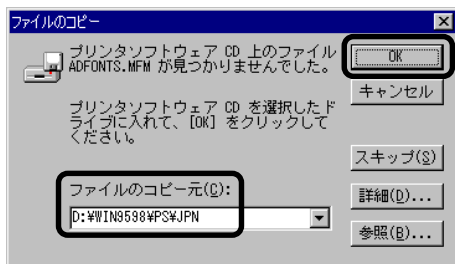
「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❼へ進みます。

❻ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面が表示されている場合は、［終了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

☞ ❺からの続き

❼ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

❽ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PSプリンタドライバを利用する場合
D:¥WIN9598¥PS¥JPN
PCL プリンタドライバを利用する場合
D:¥WIN9598¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合（WindowsMe/98/95/2000/NT4.0、USB インタフェース）

❶ セットアップブログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USB ケーブルの接続を確認し、電源を ON にします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windows を再起動した後、USB ケーブルの接続を確認し、プリンタの電源を ON にします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 をセットアップします」（42 ページ）をご覧ください。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］）を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［印刷先のポート］（WindowsXP/2000 では、［ポート］タブの［印刷するポート］）で、接続先のポートを下記の設定にします。

パラレルケーブルで接続する場合	［LPT1］
USB ケーブルで接続する場合	［USBxxx］（WindowsXP/2000 の場合） ［OP1USBx］（WindowsMe/98 の場合）

- WindowsXP/2000 で、［印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源が ON になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。
- WindowsMe/98 で［印刷先のポート］に［OP1USBx］が表示されないときは、プリンタの電源が OFF になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 をセットアップします」（42 ページ）をご覧ください。
- WindowsMe/98 でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（54 ページ）、「Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（56 ページ）をご覧ください。

PS または PCL のどちらか一方しかインストールできない場合（USB インタフェース）

USBインタフェースで接続する場合、同じプリンタに対して、2種類のプリンタドライバを同時にインストールすると、2つ目にインストールするプリンタドライバのアイコンが作成されません。
2つ目のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

〈WindowsXP〉

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。

❷ ［プリンタのインストール］をクリックします。

❸ 画面の指示に従ってセットアップし、「次のポートを使用」画面で「FILE」にチェックを付けます。

❹ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsXP をセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（38 ページ）をご覧ください。

❺ ［プリンタ］フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❻ ［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］にチェックを付けます。

〈WindowsMe/98/2000〉

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 をセットアップします」（40 ページ）をご覧ください。

❹ ［プリンタ］フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［印刷先のポート］で［OP1USBx］（Windows2000 では［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］）にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合（WindowsMe/98/95/2000/NT4.0）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

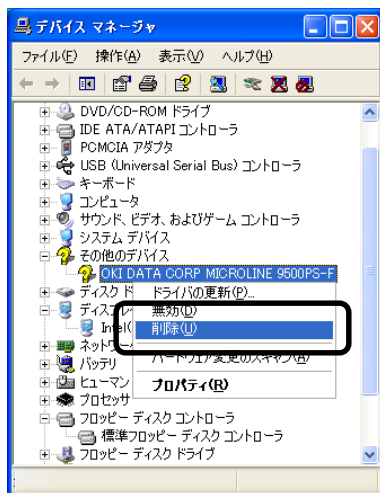
❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

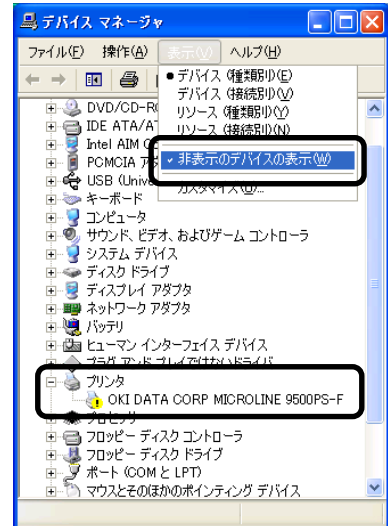
詳細は、「プリンタソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷ ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸ ［その他のデバイス］の「OKI DATA CORP MICROLINE ***」（***はプリンタ名）をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORP MICROLINE ***」（*** はプリンタ名）をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹ 「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「WindowsXP をセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（37 ページ）へ戻ります。

WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

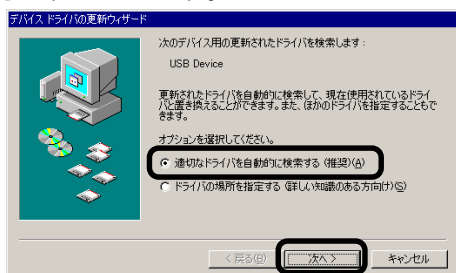
❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［システム］をダブルクリックします。

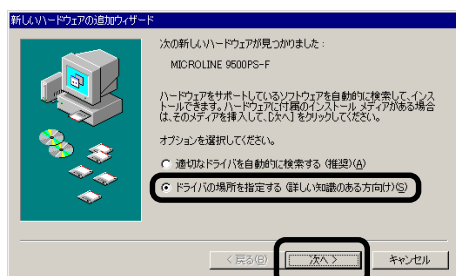
❸ ［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

❹ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❻ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ ［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックを外します。

❾ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

PS プリンタドライバを利用する場合
D:¥WIN9598¥PS¥JPN
PCL プリンタドライバを利用する場合
D:¥WIN9598¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

❿ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックします。

⓯ 「Oki USB Driverプロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

⓰ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックし、［コントロールパネル］を閉じます。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

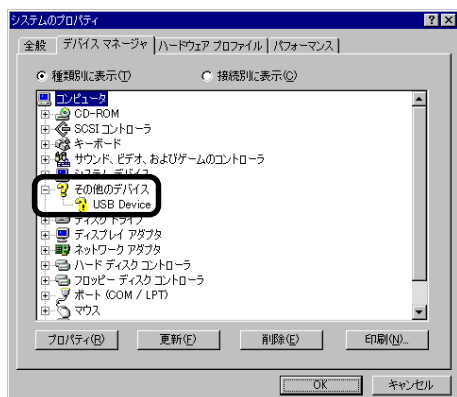
2章

Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［システム］をダブルクリックします。

❸ ［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

注 ［不明なデバイス］と表示されることがあります。

❹ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

❻ ［現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽ ［CD-ROM ドライブ］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

❾ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックします。

⓫ 「Oki USB Driver プロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

2 章

⑫ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

⑬ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）] を選択します。

⑭ [検索場所の指定] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

PS プリンタドライバを利用する場合
D:¥WIN9598¥PS¥JPN
PCL プリンタドライバを利用する場合
D:¥WIN9598¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:¥ の場合）

⑮ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ] をクリックします。

⑯ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

⑰ [印字テストを行いますか？] で [いいえ] を選択し、[完了] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⑱ [完了] をクリックします。

⑲ 「システムのプロパティ」画面で [OK] をクリックし、[コントロールパネル] を閉じます。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは完了です。

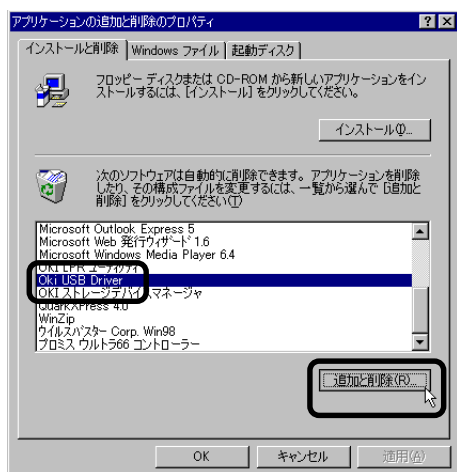
プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

注 WindowsMe/98 で USB 接続している場合は、❹～❼ の作業を行ってください。

❹ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❺ ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

❻ ［Oki USB Driver］を選択し、［追加と削除］をクリックします。

❼ 以降、画面の指示に従います。

注 WindowsXP/2000 の場合は、❽、❾ の作業を行ってください。

❽ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❾ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。

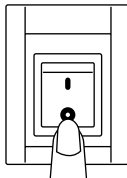
❷ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(WindowsXP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。)

❸ [OKI MICROLINE ***] (*** はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❹ [全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします。(WindowsMe/98/95 の場合、[全般] タブの [印字テスト] をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源を OFF にします。

❼ [OKI MICROLINE ***] (*** はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックして [削除] を選択します。

注 ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類 (PS または PCL) のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

2
章

WindowsXP/2000 の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❿ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

⓫ Windows を再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。

詳しくは「WindowsXP をセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（40 ページ）、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0をセットアップします」（42 ページ）をご覧ください。

・必ずプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
・WindowsXP では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ アップデートしたプリンタドライバのバージョンを確認します。

⓮ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

⓯ 印刷されたテストページに記載されるファイルバージョンが更新されていることを確認します。

WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

注

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（WindowsMe/98/95 の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

3 Macintosh をセットアップします

3
章

動作環境

 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースを使用する場合

MacOS8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB 拡張ボードには対応していません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタUtilityに「MICROLINE *****」、「MICROLINE *****1」、「MICROLINE *****2」（***** はプリンタ名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- Mac OS X Classic 環境には対応していません。

メモ　USB インタフェースケーブルは長さ 2m 以内のものをお使いください。

ネットワークインタフェースを使用する場合

MacOS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境 日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk インタフェースを搭載している機種

- MacOS8.5 未満はインストールされるプリンタドライバのバージョンが異なります。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MacOS8.0 以前のシステムには対応していません。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

メモ　イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

USB インタフェースで接続します（Macintosh）

注　USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

1 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

3 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO トレイ 1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4 Macintosh を起動します。

5 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  1) コントロールパネルの機能拡張マネージャで、セット［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  2) Macintosh を再起動します。
  3) 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  4) プリンタドライバのインストール後、コントロールパネルの機能拡張マネージャを元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時のセット］を選択してください。

3
章

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

Installer for MacOS

❹ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻「AdobePS 8.8 に関する情報」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽［終了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

Macintosh 再起動後、［セレクタ］に［AdobePS］アイコンが表示されます。

6 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ [MicrolinePS] フォルダ内の [デスクトップ・プリンタUtility] をダブルクリックします。

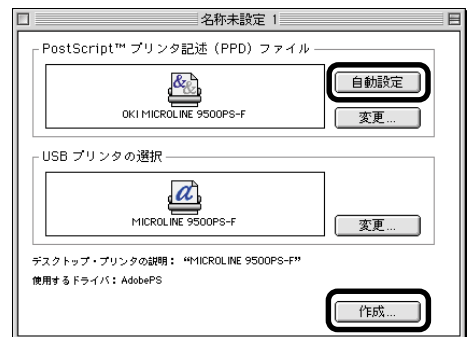
デスクトップ・プリンタ Utility

メモ　AdobePS プリンタドライバをインストールすると、[MicrolinePS] フォルダ内に [デスクトップ・プリンタUtility] も同時にインストールされます。

❷ [プリンタ] で [AdobePS] を、[デスクトップに作成] で [プリンタ (USB)] を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [USBプリンタの選択] の [変更] をクリックします。

❹ [USBプリンタの選択] でプリンタ名を選択し、[OK] をクリックします。

❺ [PostScriptプリンタ記述 (PPD) ファイル] で [自動設定] を選択します。

❻ [作成] をクリックします。

❼ [デスクトップ・プリンタの保存名] を入力し、[保存] をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタUtilityを終了します。

MICROLINE 9500PS-F

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ　USBインタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で「AdobePS」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の [プリンタ] メニューで [省略時プリンタに指定] を選択して使用します。

7 和文スクリーンフォントをインストールします。

ML9500PS-Fの場合

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］-［和文書体］フォルダを開きます。

❸［じゅん 101］フォルダ内の［L じゅん 101］、［L じゅん 101 丸漢］を［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹［太ゴ B101］、［太ミン A101］フォルダからも同様にコピーします。

❺ Macintosh を再起動します。

ML9500PS、ML9300PSの場合

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］-［和文書体］フォルダを開きます。

❸［平成明朝 W3］フォルダ内の［平成明朝 W3］、［平成明朝 W3丸漢］を［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹［平成角ゴシック W5］フォルダからも同様にコピーします。

❺ Macintosh を再起動します。

ネットワークインタフェースで接続します（Macintosh）

イーサネットケーブルは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

1　プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2　イーサネットケーブルを接続します。

❶ プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように 1 重の輪を作って取り付けます。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

3　プリンタの電源を ON にします。

```
オンライン                .AUTO
                          トレイ 1
```

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4　Macintosh を起動します。

5 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  1) コントロールパネルの機能拡張マネージャで、セット［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  2) Macintosh を再起動します。
  3) 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  4) プリンタドライバのインストール後、コントロールパネルの機能拡張マネージャを元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時のセット］を選択してください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

Installer for MacOS

❹ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❻「AdobePS 8.8 に関する情報」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽［終了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

Macintosh 再起動後、［セレクタ］に［AdobePS］アイコンが表示されます。

6 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ ［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷ ［AdobePS］をクリックし、［PostScriptプリンタの選択］で「プリンタ名」を選択します。

メモ　プリンタ名は、MicrolinePS Utilityで変えることができます。

❸ ［作成］をクリックします。

プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

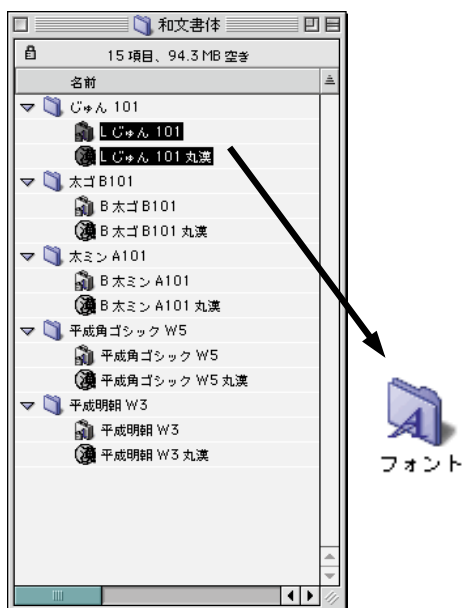
3章

7 和文スクリーンフォントをインストールします。

ML9500PS-Fの場合

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts] - [和文書体] フォルダを開きます。

❸ [じゅん 101] フォルダ内の [L じゅん 101]、[L じゅん 101 丸漢] を [システムフォルダ] - [フォント] フォルダにコピーします。

❹ [太ゴ B101]、[太ミン A101] フォルダからも同様にコピーします。

❺ Macintosh を再起動します。

ML9500PS、ML9300PSの場合

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

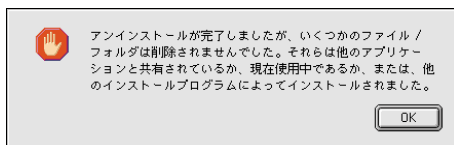
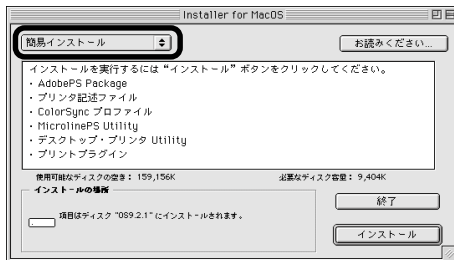
❷ [Fonts] - [和文書体] フォルダを開きます。

❸ [平成明朝 W3] フォルダ内の [平成明朝 W3]、[平成明朝 W3丸漢] を [システムフォルダ] - [フォント] フォルダにコピーします。

❹ [平成角ゴシック W5] フォルダからも同様にコピーします。

❺ Macintosh を再起動します。

プリンタドライバを削除するには

1　インストーラでアンインストールします。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「AdobePS8.8 に関する情報」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ⬍をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2　下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- AdobePS を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［機能拡張］フォルダ内の［AdobePS］ファイル、［PrintingLib］ファイル、［Adobe Printing Libraty］ファイル
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「AdobePS 設定」ファイル

「PrintingLib」ファイルは、他の PS プリンタドライバでも使用している場合があります。LaserWriter8 などを使用している場合は削除しないでください。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（71 ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「USB インタフェースで接続します（Macintosh）」（63 ページ）または「ネットワークインタフェースで接続します（Macintosh）」（67 ページ）をご覧ください。

4 Mac OS Xをセットアップします

4章

動作環境

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースを利用する場合

Mac OS X10.1.2 ～ 10.1.5 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- カスタム用紙はサポートされません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.1.1 では、USB インタフェースでの接続はできません。
- Classic 環境が動作しているときは、Mac OS X からの印刷ができません。Classic 環境を終了させてから印刷してください。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションは使用できません。

メモ USB ケーブルは長さ 2m 以内のものをお使いください。

ネットワークインタフェースを利用する場合

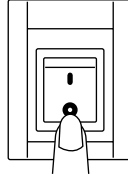
Mac OS X10.0～10.1.5 日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk インタフェースを搭載している機種

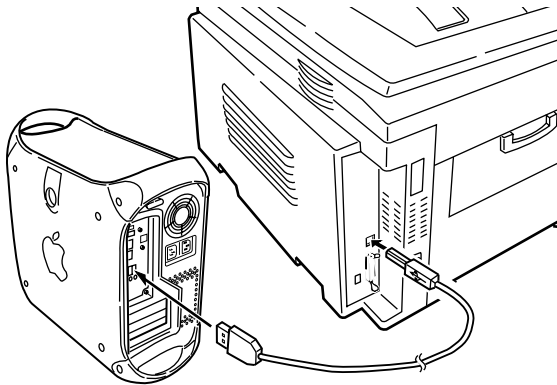
- 日本語以外の OS には対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- カスタム用紙はサポートされません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では、［用紙厚］や［解像度］設定などの、プリンタの固有機能を使用することができません。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では、プリンタ名に日本語を使用するとコンピュータとプリンタ間で接続することができません。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションは使用できません。

メモ イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください、

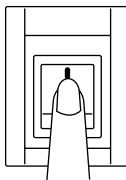
USB インタフェースで接続します（Mac OS X）

注 USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

1 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

3 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO
	トレイ 1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4 プリンタの操作パネルで［USB PS プロトコル］を［ASCII］にします。

注

- Mac OS X で使用する場合は、必ず設定してください。設定しないと正常に印刷できないことがあります。
- MacOS 9 で使用する場合は、設定を［RAW］に戻してください。

❶ 0 を数回押し、［システム　コウセイ　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、［USB　PSプロトコル］を表示します。

❸ 2 または 5 を押し、［ASCII］を表示します。

❹ 3 を押し、値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

5 Macintosh を起動します。

6 プリンタソフトウェアをインストールします。

注　ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

メモ　プリンタドライバは Mac OS X 付属の PostScript プリンタドライバを使用します。

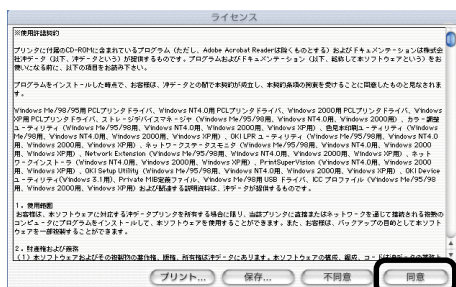
❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックします。

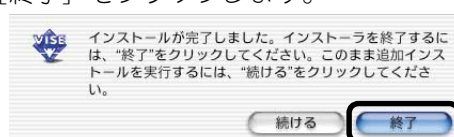
❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❼ 「お読みください」をよく読み、[続ける] をクリックします。

❽ [インストール] をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

❾ [終了] をクリックします。

7 Print Center で設定をします。

❶ ハードディスクの [Applications] - [Utilities] フォルダ内の [Print Center] をダブルクリックします。

Print Center

❷ [プリンタを追加] をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加] をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して [削除] をクリックします。

❸ [USB] を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、[追加] をクリックします。

❺ [プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[Print Center]を閉じます。

8 設定を確認します。

❶ TextEdit などのアプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸ ［フォーマット］で追加したプリンタ名を選択します。

❹ ［フォーマット］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［Print Center］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

ネットワークインタフェースで接続します（Mac OS X）

イーサネットケーブルは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

1 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

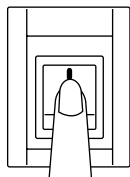
メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2 イーサネットケーブルを接続します。

❶ プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

3 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO トレイ 1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

4 Macintosh を起動します。

5 プリンタソフトウェアをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷ [ML_COLOR] アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver] フォルダ内の [Installer for Mac OS X] をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

❺ 起動画面で [続ける] をクリックします。

❻「使用許諾契約」をよく読み、[同意] をクリックします。

❼「お読みください」をよく読み、[続ける] をクリックします。

❽ [インストール] をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

❾ [終了] をクリックします。

4章

6 Print Center で設定をします。

❶ ハードディスクの［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］をダブルクリックします。

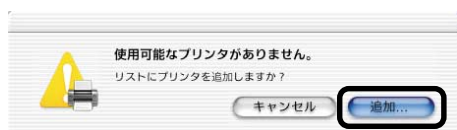
❷［プリンタを追加］をクリックします。

メモ　新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸［AppleTalk］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［Print Center］を閉じます。

4章

7 設定を確認します。

❶ TextEditなどのアプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸ ［フォーマット］で追加したプリンタ名を選択します。

❹ ［フォーマット］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバがPPDファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［Print Center］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

プリンタドライバを削除するには

1 Print Center からプリンタ名を削除します。

❶ ハードディスクの[Applications]-[Utilities] フォルダ内の［Print Center］をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［Print Center］を閉じます。

2 インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。

❶ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ [ML_COLOR]アイコンをダブルクリックします。

❸ ［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❻ ［ライセンス］を読み、［同意］をクリックします。

❼ ［お読みください］を読み、［続ける］をクリックします。

❽ ⬍をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❾ ［アンインストール］をクリックします。

プリンタソフトウェアのアンインストールが行われます。

❿ ［終了］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ 「Print Center」のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（81 ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「USBインタフェースで接続します（Mac OS X）」（73 ページ）、「ネットワークインタフェースで接続します（Mac OS X）」（77 ページ）をご覧ください。

5 印刷します

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙について」（リファレンス編）をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

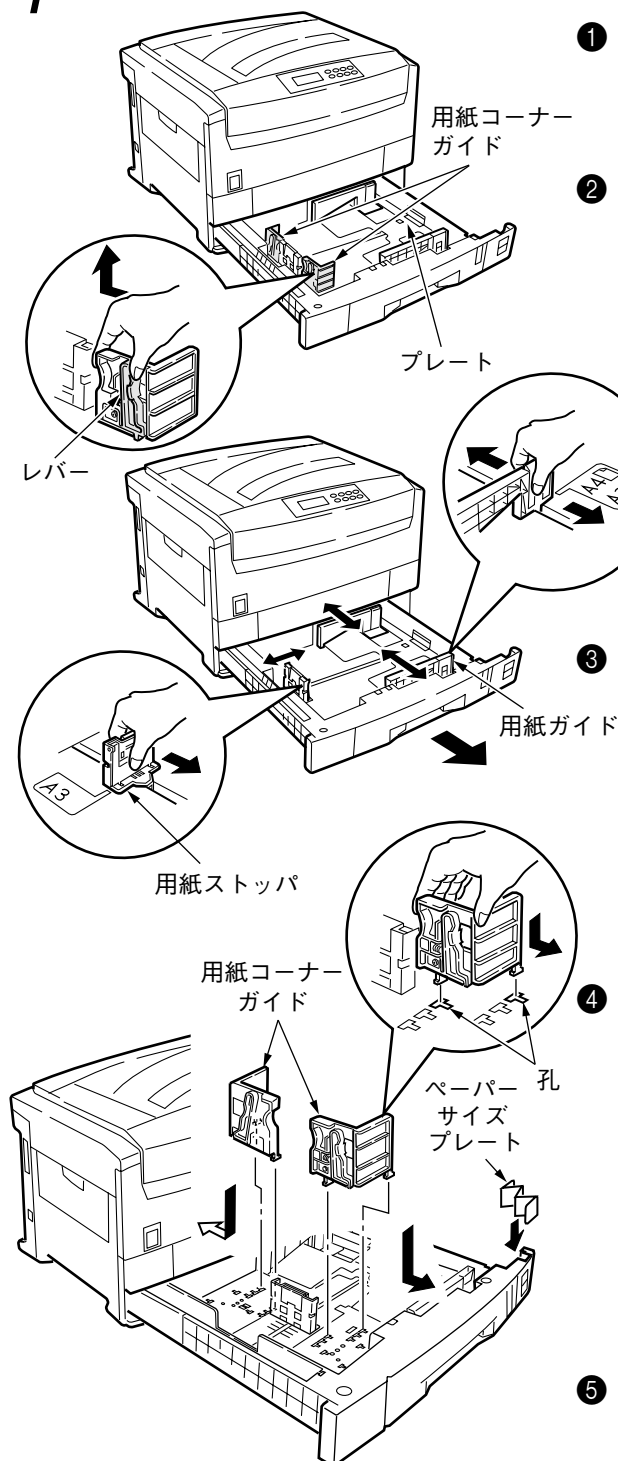
◎：片面、両面印刷*2 とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2～5*2			
普通紙	連量 55～69kg	A3ノビ, A3, A4*3, A5 B4, B5*3, レター*3 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
	連量 70～90kg	A3, A4*3, A5 B4, B5*3, レター*3 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	◎	◎	◎	◎	◎
		A3ノビ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
	連量 91～151kg	A3ノビ, A3, A4*3, A5 B4, B5*3, レター*3 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
	連量 152～172kg	A3ノビ, A3, A4*3, A5 B4, B5*3, レター*3 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	×
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
はがき*5	―	はがき, 往復はがき	○	×	○	○	×
封筒*5	―	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, C4, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙*6	―	A4, レター	×	×	○	○	×
光沢紙*6*7	―	A4, レター	○	×	○	○	×
OHPシート*6	―	A4, レター	○	×	○	○	×

*1： 上から順にトレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 となります。
*2： トレイ 2 ～ 5、両面印刷はオプションです。
*3： 縦送りと横送りができます。
*4： カスタムは幅 76.2 ～ 328mm、長さ 127 ～ 1200mm です。
*5： はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。
*6： ラベル紙、光沢紙、OHP シートのメディアタイプを設定すると印刷速度が遅くなります。
*7： メディアタイプの［コウタクシ］は、光沢紙など表面に光沢のある印刷媒体に適したモードです。光沢紙は、白地に薄くトナーが付着しやすいため、印刷品質など、事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙カセットから印刷します

普通紙（A6はトレイ1のみ、カスタムサイズは除く）は用紙カセットから印刷します。はがき、OHPシートも（トレイ1のみ）印刷できます。
トレイ1～5とも同じ操作になります。

1 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているコルクは、はがさないでください。

❷ 使用する用紙サイズがB4やリーガル以上の場合には、一旦、用紙コーナーガイド（2ケ所）を取り外します。
用紙コーナーガイドのレバーをつまみ、内側へずらし、上へ上げて取り外します。

❸ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❹ 使用する用紙サイズがB4、A3、A3ワイド、リーガル、タブロイド、タブロイドエクストラの場合には、手順❷で外した用紙コーナーガイド（2ケ所）を取り付けます。用紙コーナーガイドを用紙のサイズに合わせて差し込み押し付けながら、パチンと音がするまで矢印方向に動かします。

注 A3ノビの場合には、用紙コーナーガイドは使用しません。

❺ ペーパーサイズプレートをセットします。

5章

❻ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

❼ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

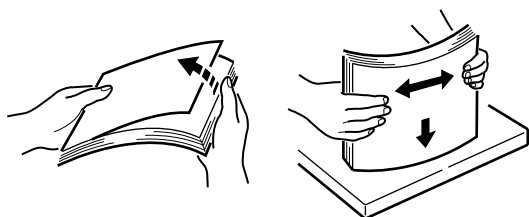
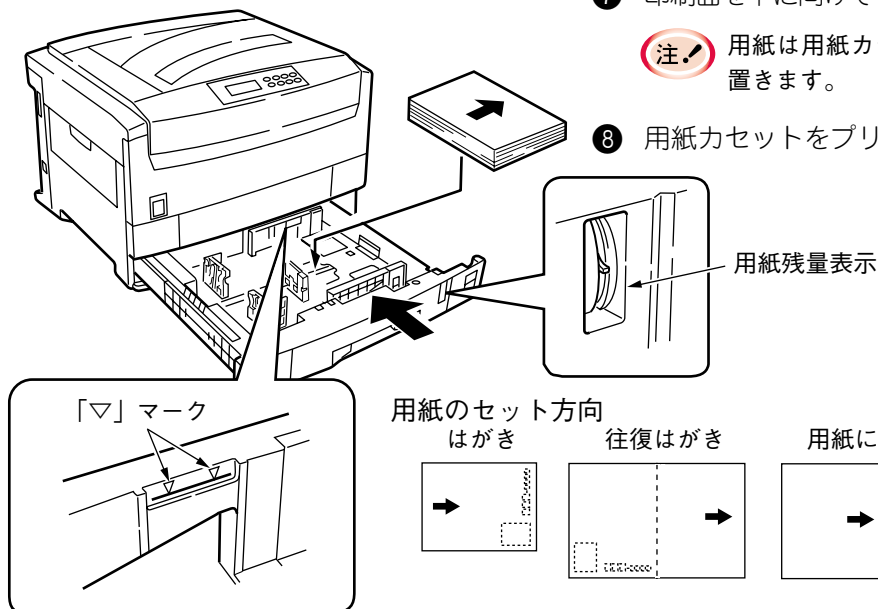
注 用紙は用紙カセットの右側によせて置きます。

❽ 用紙カセットをプリンタに戻します。

用紙残量表示

「▽」マーク

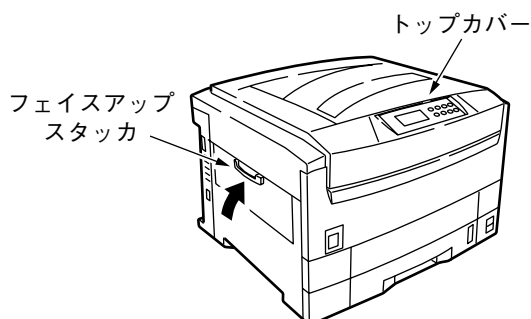
用紙のセット方向

はがき　往復はがき　用紙に上下がある場合

（A4、B5、レター横送りの場合）

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量70kg紙で550枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。（A4、B5、レターは横送りもできます。）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがきの反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットおよび両面印刷（オプション）時のトレイ１の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- ［メディア　メニュー］の［メディアウェイト］が［ジドウ］でかつ、［メディアタイプ］が［フツウシ］の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。［メディアウェイト］と［メディアタイプ］は初期状態では各々［ジドウ］、［フツウシ］に設定されています。OHP シート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

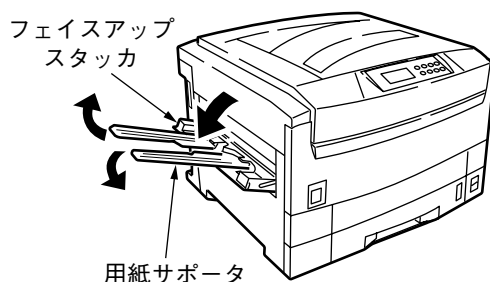
2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 500 枚をためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

注 フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- フェイスアップスタッカを開いた場合は、プリンタドライバで［排出先］を選択してください。
- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

メモ 次の用紙サイズを使用する場合は、操作パネル、MicrolinePS Utility（Macintosh）、Web ブラウザで用紙カセットの用紙サイズの設定をします。

- A3 ノビ *、A3 ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ
- 往復はがき／はがき *、A5 ／ A6
- リーガル（14 インチ）*、リーガル（13.5 インチ）

*: 工場出荷時の設定

ここでは、操作パネルでトレイ 1 の用紙サイズを A5 または A6 用紙に設定する手順を説明します。

❶ (0) を数回押し、［システム　ホセイ　メニュー］を表示します。

❷ (1) または (5) を数回押し、［トレイ 1　A 5 ／ A 6　ヨウシ］を表示します。

❸ (2) または (6) を押し、［A 5 ／ A 6］を表示します。

❹ (3) を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ (4) を押し、［オンライン］にします。

3 アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択し、印刷します。

- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を使い、トレイ1でA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタの操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ

- ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（リファレンス編）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHP シート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

Windows XP PS プリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［全般］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［トレイ1］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows 2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

メモ　フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。

❺ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

メモ フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。

❻ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

メモ　フェイスアップスタッカが開いている場合は、［ジョブオプション］パネルで［排出先］を選択します。

❺ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［フォーマット］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［プリンタ］でプリンタの機種名を選択します。

❺ ［給紙］パネルで［トレイ 1］を選択します。

メモ　フェイスアップスタッカが開いている場合は、［プリンタ機能］パネルで［排出先］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

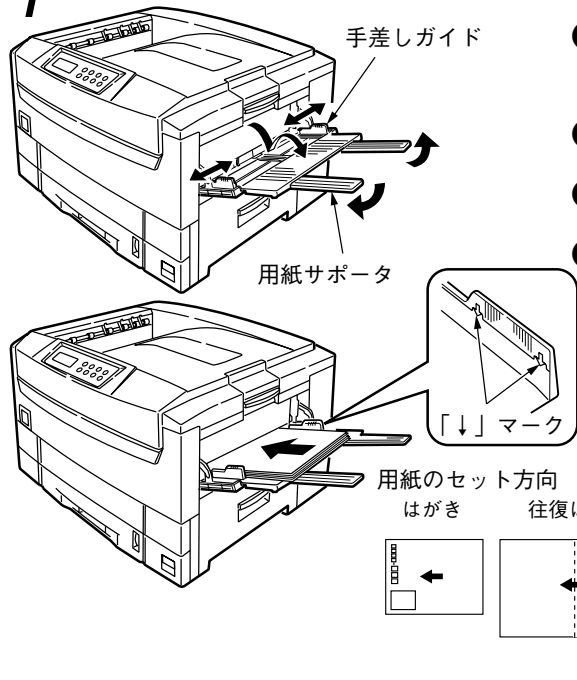
マルチパーパストレイから印刷します

封筒、ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷します。普通紙、はがき、OHPシートも印刷できます。

1 用紙をセットします。

手差しガイド

用紙サポータ

「↓」マーク

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

❸ 用紙の上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を上に向けて、用紙を手差しガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込みます。

用紙のセット方向

はがき

往復はがき

封筒1～4

Com-9,Com-10
DL,C4,C5,
Monarch

用紙に上下がある場合

ABC

ABC

（A4、B5、レター横送りの場合）

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの[↓]マークを越えないようにセットしてください。（連量70kg紙で100枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。（A4、B5、レターは横送りもできます。）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。
- 封筒はフラップ部がふくらまないように強く折り、必ず横送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- [メディア　メニュー]の[メディアウェイト]が[ジドウ]でかつ、[メディアタイプ]が[フツウシ]の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。[メディアウェイト]と[メディアタイプ]は初期状態では各々[ジドウ]、[フツウシ]に設定されています。OHPシート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ　はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートへの印刷については、「いろいろな用紙に印刷するための設定について」（リファレンス編）をご覧ください。

2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 500 枚をためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、プリンタドライバで［排出先］を選択してください。
- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- 連量152kg以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHP シート、A6サイズ、カスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

5章

3　操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。

メモ　MicrolinePS Utility（Macintosh）、Web ブラウザからも設定できます。

ここでは、A4 用紙（縦送り）に設定する手順を説明します。

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［ＭＰトレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❸ 2 または 6 を数回押し、［Ａ４　タテオクリ］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

4　アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

5　プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択し、印刷します。

- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を使い、マルチパーパストレイでA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタ操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ

- ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（リファレンス編）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHP シート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

Windows XP PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［全般］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺ ［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ
- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- 封筒1～4の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❻ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ
- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- 封筒1～4の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❻ 「印刷」 画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows 2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- 封筒１～４の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❺ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- 封筒１～４の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

メモ

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- A4、B5、レター用紙を縦送りで印刷する場合は、［設定］タブの［オプション］をクリックし、［横送り］のチェックを外します。

❻ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［ジョブオプション］パネルで［排出先］を選択します。
- 封筒 1 ～ 4 の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❺ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［フォーマット］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

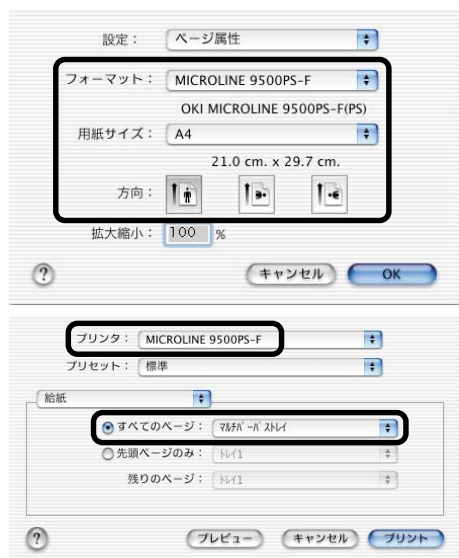
❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［プリンタ］でプリンタの機種名を選択します。

❺ ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［プリンタ機能］パネルで［排出先］を選択します。
- 封筒 1 ～ 4 の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

5
章

手差しで１枚ずつ印刷します

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1枚ずつ確認してから④スイッチを押して印刷をします。

メモ
- 通常とは違った用紙を少量ずつセットして印刷する場合などに便利です。
- ［システム　コウセイ　メニュー］の［マニュアル　タイムアウト］の設定時間を越えると印刷ジョブがキャンセルされますので、印刷ジョブを自動的に消したくない場合は、設定値を［オフ］にしてください。

1 マルチパーパストレイを準備します。

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

5章

2 用紙の排出先をセットします。

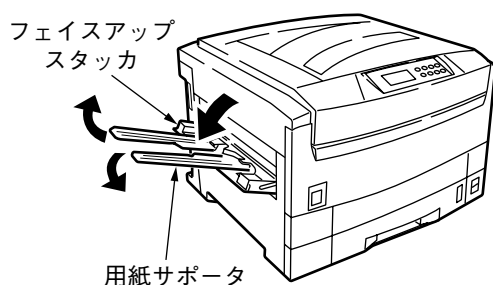
フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約500枚をためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、プリンタドライバで［排出先］を選択してください。
- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- 連量152kg以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPシート、A6サイズ、カスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

3 アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択します。

- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を使い、手差しでA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタの操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ　プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHPシート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

Windows XP PSプリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

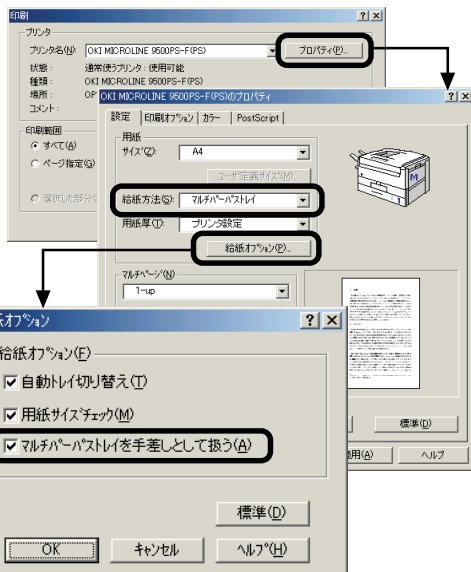
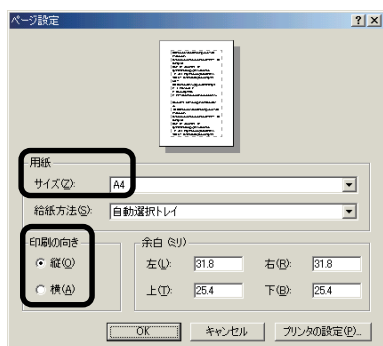
❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［全般］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- 封筒1～4の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❻［詳細設定］をクリックし、［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］で［はい］を選択し、［OK］をクリックします。

❼「印刷設定」画面で［OK］をクリックします。

❽「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［設定］タブの［給紙オプション］をクリックし、［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❻ ［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- 封筒１～４の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❼ 「印刷」画面で［OK］をクリックします。

5章

Windows 2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ
- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- 封筒1～4の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❺ ［詳細設定］をクリックし、［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］で［はい］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ ［印刷］をクリックします。

Windows NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ
- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。
- 封筒１～４の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❻ ［給紙オプション］の［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］で［はい］を選択し、［OK］をクリックします。

❼ 「印刷」画面で［OK］をクリックします。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［オプション］をクリックし、［マルチパーパストレイ設定］の［手差しとして扱う］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

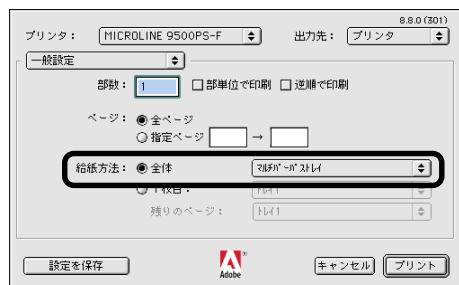
❻ ［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

メモ
- フェイスアップスタッカが開いている場合は［印刷オプション］タブの［排出先］を選択します。
- A4、B5、レター用紙を縦送りで印刷する場合は、［オプション］をクリックし、［横送り］のチェックを外します。

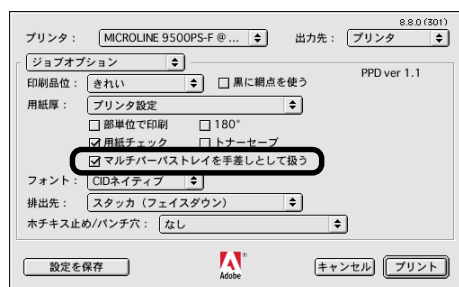
❼ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［ジョブオプション］パネルで［排出先］を選択します。
- 封筒１～４の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❺ ［ジョブオプション］パネルで［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］にチェックを付けます。

❻ ［プリント］をクリックします。

Mac OS X プリンタドライバの場合

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［フォーマット］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［プリンタ］でプリンタの機種名を選択します。

❺ ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻ ［プリンタ機能］パネルの［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］で［はい］を選択します。

メモ
- フェイスアップスタッカが開いている場合は、［プリンタ機能］パネルで［排出先］を選択します。
- 封筒 1 ～ 4 の印刷方向については、「封筒に印刷したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❼ ［プリント］をクリックし、印刷します。

5 用紙をセットします。

プリンタの操作パネルに「A4ヨコオクリ　ヲ　MP　トレイ　ニイレテ　オンライン　スイッチヲ　オシテクダサイ」と表示されたら、用紙をマルチパーパストレイにセットします。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの［↓］マークを越えないようにセットしてください。（連量 70kg 紙で 100 枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。（A4、B5、レターは横送りもできます。）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 封筒はフラップ部がふくらまないように強く折り、必ず横送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- ［メディア　メニュー］の［メディアウェイト］が［ジドウ］でかつ、［メディアタイプ］が［フツウシ］の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。［メディアウェイト］と［メディアタイプ］は初期状態では各々［ジドウ］、［フツウシ］に設定されています。OHP シート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ　はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートへの印刷については、「いろいろな用紙に印刷するための設定について」（リファレンス編）をご覧ください。

6 操作パネルで ④「オンライン」スイッチを押します。

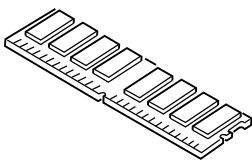
印刷が開始されます。

［システム　コウセイ　メニュー］で設定されている［マニュアル　タイムアウト］の時間内に ④ スイッチを押さないと、印刷はキャンセルされます。

6 オプション品について

増設メモリ

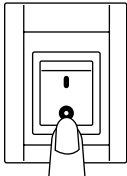
プリンタのメモリ容量を増やすボードです。両面印刷するときや、複雑なデータでメモリ不足のエラーがでるときに追加します。

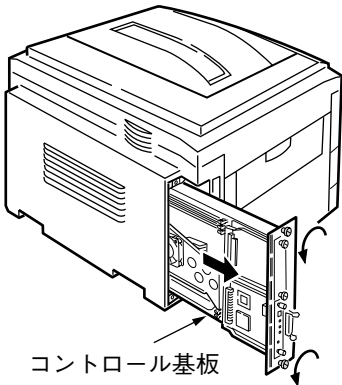
ML64MB 増設メモリ
ML128MB 増設メモリ
ML256MB 増設メモリ
ML512MB 増設メモリ

モデル名	標準メモリ	空きスロット	両面印刷（推奨）	最大メモリ
ML9500PS-F	192MB	1	＋128MB(合計320MB)	1024MB
ML9500PS	192MB	1	＋128MB(合計320MB)	1024MB
ML9300PS	64MB	2	＋64MB(合計128MB)	1024MB

- 最大メモリにするには、標準メモリを取り外す必要があります。
- ML9300PS では、「きれい」（600 × 1200dpi）で印刷する場合、64MB 以上のメモリを追加（合計 128MB 以上）する必要があります。また、A3 用紙に印刷する場合や PDF ダイレクト印刷を使用する場合も、64MB 以上のメモリを追加（合計 128MB 以上）することをお勧めします。
- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- メモリ用スロットは全部で 3 スロットあります。

6
章

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

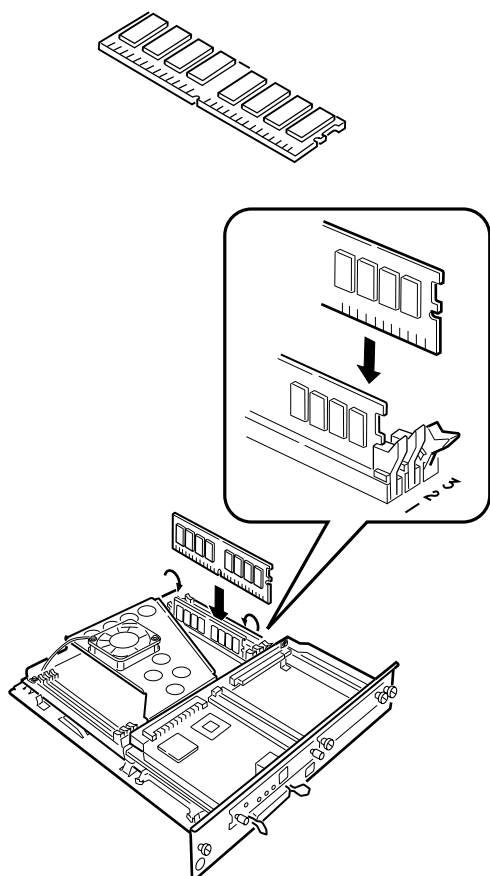
注　電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

2 コントロール基板を引き出します。

❶ ネジ（2 ケ所）をゆるめます。

❷ コントロール基板を引き出します。

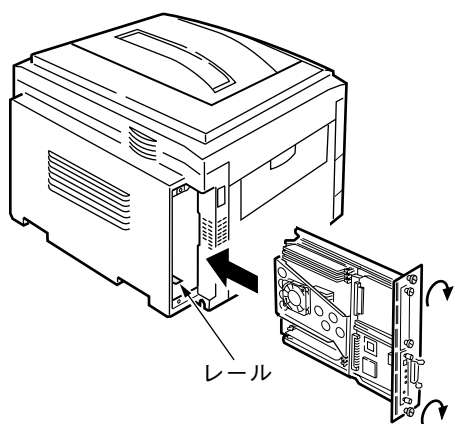
❸ コントロール基板を平らなテーブルの上に置きます。

電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。

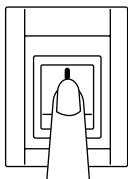
3 メモリを取り付けます。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷ 空きスロットにメモリを差し込みます。

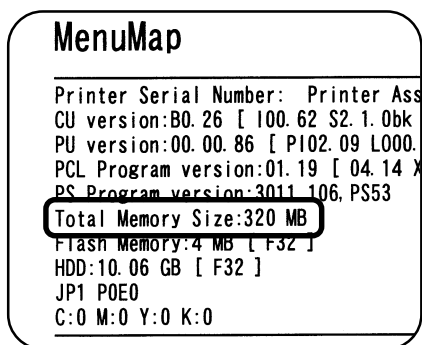
❸ 左右のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

4 コントロール基板を戻します。

❶ レールに合わせて確実にコントロール基板を戻します。

❷ ネジ（2ケ所）で固定します。

5 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

6 メニューマップ印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap

Printer Serial Number:  Printer Ass
CU version:B0.26 [ 100.62 S2.1.0bk
PU version:00.00.86 [ P102.09 L000.
PCL Program version:01.19 [ 04.14 X
PS Program version:3011.106,PS53
Total Memory Size:320 MB
Flash Memory:4 MB [ F32 ]
HDD:10.06 GB [ F32 ]
JP1 P0E0
C:0 M:0 Y:0 K:0
```

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

7 プリンタドライバで［メモリ容量］を変更します。

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows PCL プリンタドライバでは設定の必要はありません。
- Mac OS X では設定できません。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

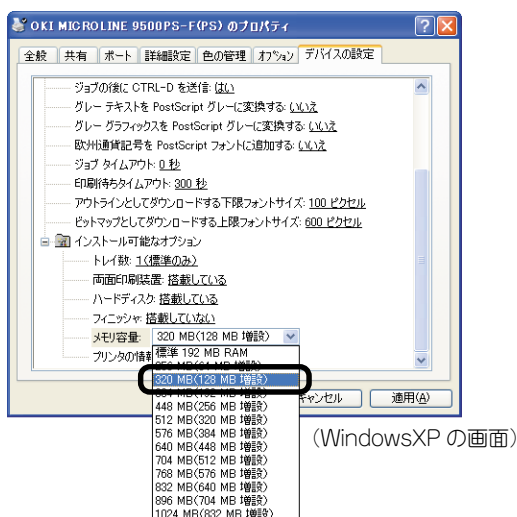
（WindowsMe の画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［追加メモリ］で総メモリ容量を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［メモリ容量］で総メモリ容量を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

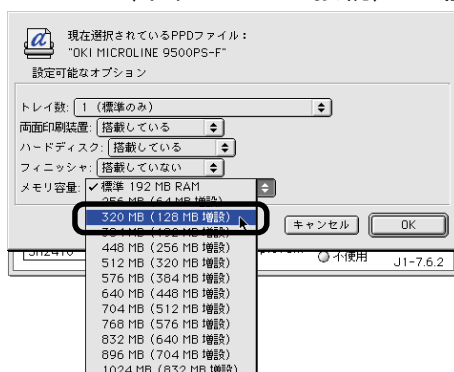
6章

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［メモリ容量］で総メモリ容量を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB 接続）の場合

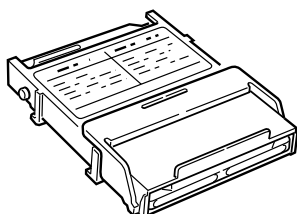
❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB インタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（65 ページ）をご覧ください。

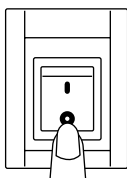
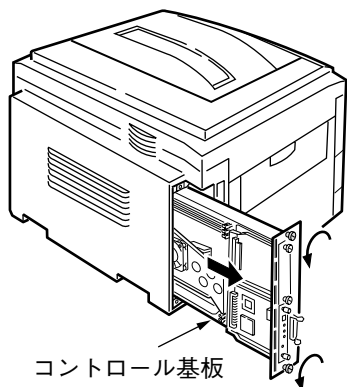
内蔵ハードディスク

プリンタに追加する内蔵ハードディスクです。確認印刷、認証印刷、印刷ジョブの保存、スプール印刷、PDF ダイレクトプリント、AdobeType1 フォントを追加するときに使用します。

- ML9500PS-F は内蔵ハードディスクを標準で装備しています。
- ハードディスクを装着した場合は、シャットダウンメニューを実行して電源を切ってください。いきなり電源を切ると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。

メモ　ハードディスクは、「PCL」、「キョウツウ」および「PS」の 3 つのパーティションに分割されており、出荷時またはハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL	20%（2GB）
キョウツウ	50%（5GB）
PS	30%（3GB）

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（25 ページ）をご覧ください。

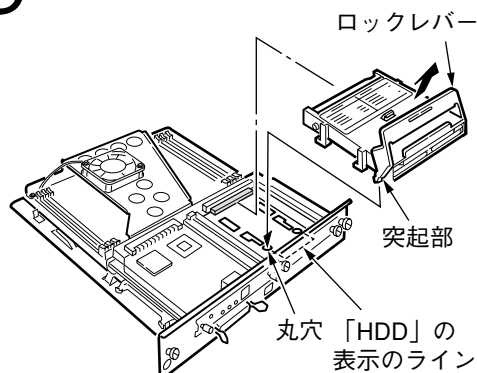
2 コントロール基板を引き出します。

❶ ネジ（2 ケ所）をゆるめます。

❷ コントロール基板を引き出します。

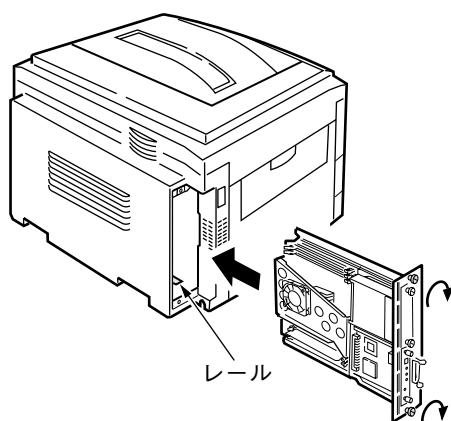
❸ コントロール基板を平らなテーブルの上に置きます。

注　電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。

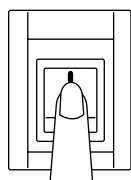
3 内蔵ハードディスクを取り付けます。

❶ 内蔵ハードディスクのロックレバーを引き起こして持ちます。

❷ コントロール基板上の「HDD」の表示のラインに合わせて内蔵ハードディスクをセットし、ロックレバーの突起部をコントロール基板の丸穴に入れます。

❸ ロックレバーをカチッと音がするまで倒します。

4 コントロール基板を戻します。

❶ レールに合わせて確実にコントロール基板を戻します。

❷ ネジ（2ケ所）で固定します。

5 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

6 メニューマップ印刷を行い、内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

MenuMap

Printer Serial Number: Printer Ass
CU version:B0.26 [100.62 S2.1.0bk
PU version:00.00.86 [P102.09 L000.
PCL Program version:01.19 [04.14 X
PS Program version:3011.106,PS53
Total Memory Size:320 MB
Flash Memory:4 MB [F32]
HDD:10.06 GB [F32]
JP1 P0E0
C:0 M:0 Y:0 K:0

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26ページ）をご覧ください。

❷ 「HDD」に内蔵ハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

6章

7 プリンタドライバで［ハードディスク］を設定します。

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X では設定できません。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

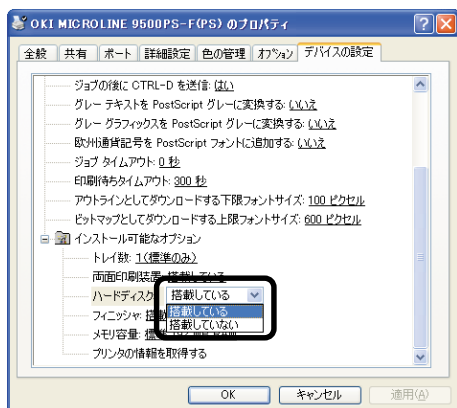
（WindowsMe の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［ハードディスク］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［ハードディスク］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

Windows PCL プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［ハードディスク］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［ハードディスク］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB 接続）の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB インタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（65 ページ）をご覧ください。

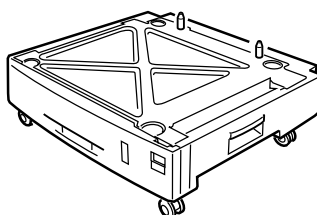
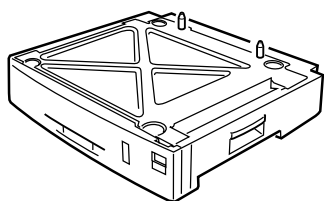
6章

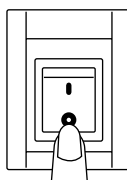
セカンド/サードトレイユニット

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイで、2段まで増設できます。連量70kg紙の場合550枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて1,750枚を連続して印刷できるようになります。

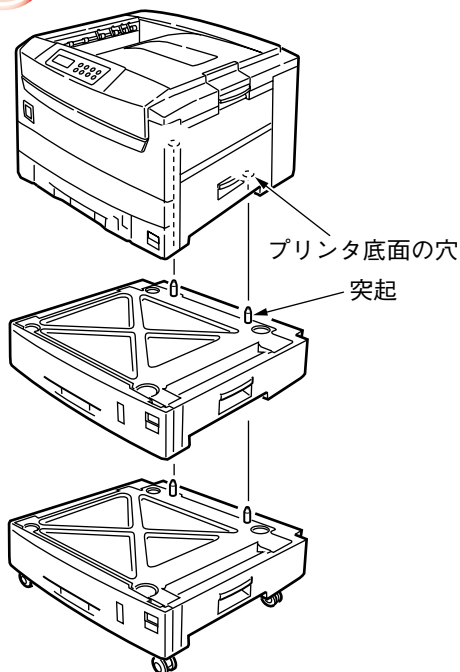
注 セカンド/サードトレイユニット2段を大容量トレイユニットと併用することはできません。

セカンド/サードトレイユニット

キャスタ付セカンド/サードトレイユニット

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(25ページ)をご覧ください。

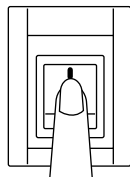
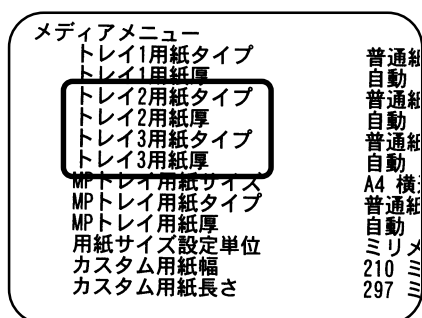
2 プリンタをセカンド/サードトレイユニットに載せます。

注 プリンタは約72kgあります。3人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタ底面の穴とセカンド/サードトレイユニットの突起を合わせます。

❷ プリンタをセカンド/サードトレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

メモ 2段増設する場合は、下段になるセカンド/サードトレイユニットの上に、上段になるセカンド/サードトレイユニットを静かに載せ、その上にプリンタを載せます。
左図ではプリンタにセカンド/サードトレイユニットとキャスタ付セカンド/サードトレイユニットを組み合わせる場合を示しています。

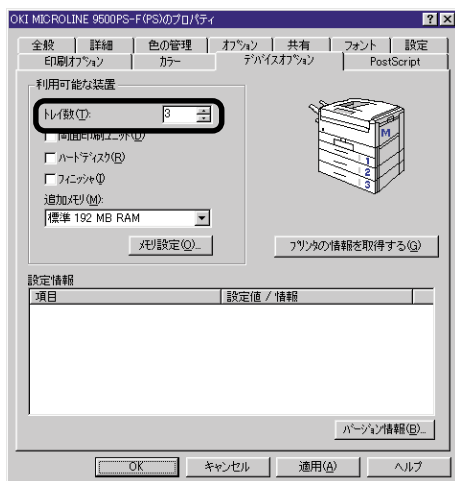
3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

4 メニューマップ印刷を行い、セカンド/サードトレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷ 「メディアメニュー」に「トレイ2」または「トレイ3」が表示されていることを確認します。

6章

5 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

注 WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

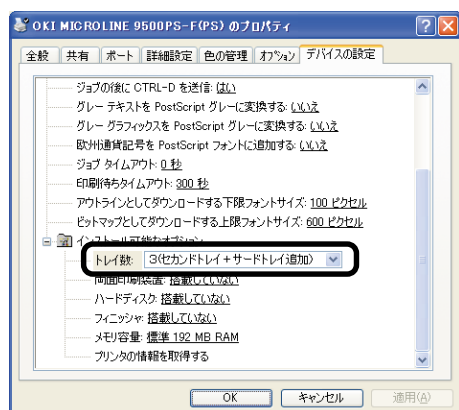
（WindowsMe の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

(WindowsXP の画面)

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(WindowsXP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。)

❷ [OKI MICROLINE ***(PS)] (*** はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] の [トレイ数] で [2 (セカンドトレイ追加)] または [3 (セカンドトレイ+サードトレイ追加)] を選択し、[OK] をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、[プリンタの情報を取得する] を選択し、[セットアップ] (WindowsNT4.0の場合は [プリンタの情報を取得する]) をクリックすると、自動的に設定されます。

Windows PCL プリンタドライバの場合

(WindowsXP の画面)

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(WindowsXP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。)

❷ [OKI MICROLINE ***(PCL)] (*** はプリンタ名) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスオプション] タブの [利用可能な装置] の [トレイ数] で現在のトレイの総数を入力し、[OK] をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、[プリンタの情報を取得する] をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［トレイ数］で［2（セカンドトレイ追加）］または［3（セカンドトレイ＋サードトレイ追加）］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB接続）の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタUtilityを使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USBインタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（65ページ）をご覧ください。

Mac OS Xの場合

❶ ハードディスクの［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］をダブルクリックします。

❷ ［MICROLINE ***］（***はプリンタ名）を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタを追加］をクリックします。

❹ ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB接続の場合は［USB］を選択します。

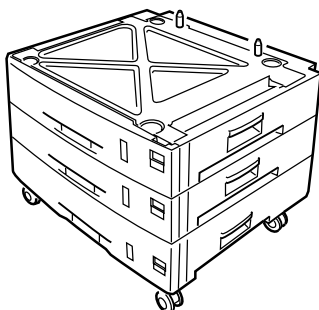
❺ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

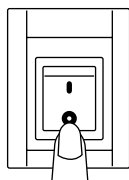
❻ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［Print Center］を閉じます。

6章

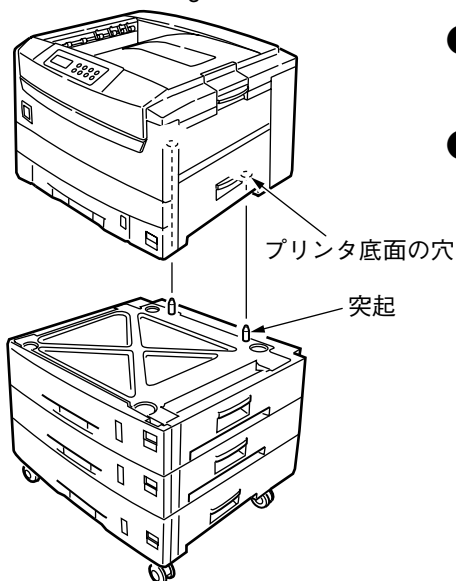
大容量トレイユニット

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。大容量トレイユニットには3段の用紙カセットがあります。連量70kg紙の場合、各トレイに550枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて2,300枚を連続して印刷できるようになります。また、セカンド/サードトレイユニット1段とも併用できます。この場合2,850枚を連続して印刷できます。

注 セカンド/サードトレイユニット2段と併用することはできません。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(25ページ)をご覧ください。

2 プリンタを大容量トレイユニットに載せます。

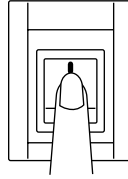
注 プリンタは約72kgあります。3人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタ底面の穴と大容量トレイユニットの突起を合わせます。

❷ プリンタを大容量トレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

メモ 大容量トレイユニットとセカンド/サードトレイユニットを取り付ける場合は、大容量トレイユニットの上にセカンド/サードユニットを静かに載せ、その上にプリンタを載せます。

6章

3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

4 メニューマップ印刷を行い、大容量トレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

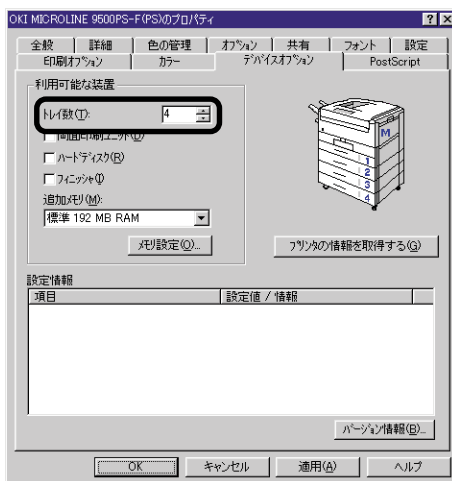
❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷ 「メディアメニュー」に「トレイ2」「トレイ3」「トレイ4」または「トレイ2」「トレイ3」「トレイ4」「トレイ5」が表示されていることを確認します。

6章

5 プリンタドライバで追加トレイの数を設定します。

注 WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

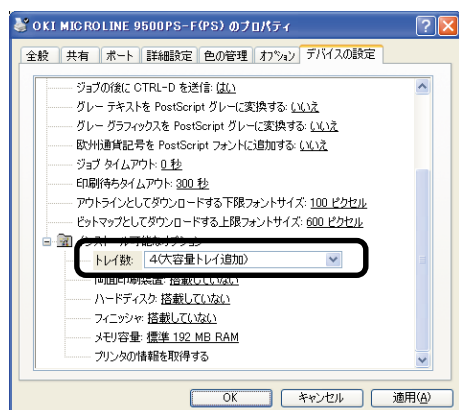
（WindowsMe の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［トレイ数］で［4（大容量トレイ追加）］または［5（セカンドトレイ＋大容量トレイ追加）］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

Windows PCL プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［トレイ数］で［4（大容量トレイ追加）］または［5（セカンドトレイ＋大容量トレイ追加）］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB 接続）の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB インタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（65 ページ）をご覧ください。

Mac OS X の場合

❶ ハードディスクの［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］をダブルクリックします。

❷ ［MICROLINE ***］（*** はプリンタ名）を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタを追加］をクリックします。

❹ ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB 接続の場合は［USB］を選択します。

❺ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❻ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［Print Center］を閉じます。

両面印刷ユニット

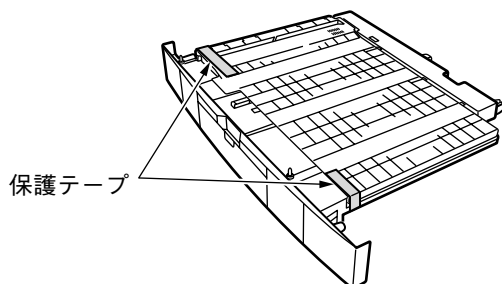
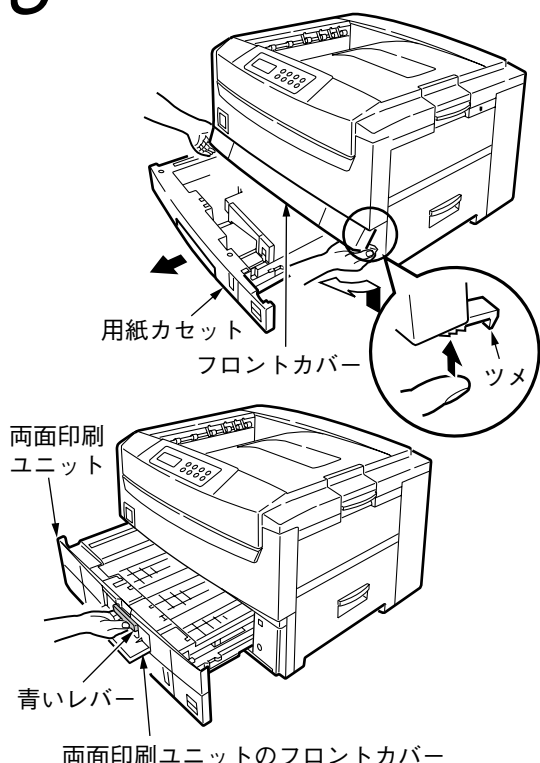
用紙の両面に印刷するユニットです。

注 両面印刷には、増設メモリの追加が必要です。詳しくは「増設メモリ」（112ページ）をご覧ください。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（25ページ）をご覧ください。

2 両面印刷ユニットの保護テープ（2ヶ所）をはがします。

3 両面印刷ユニットを取り付けます。

❶ 用紙カセットを引き出します。

❷ フロントカバーの左右のツメを押し上げて、取り外します。

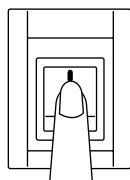
注 フロントカバーは使用しませんので保管してください。

❸ 用紙カセットを完全に引き出し、両面印刷ユニットを用紙カセットの上に合わせて載せます。

❹ 両面印刷ユニットのフロントカバーを開き、青いレバーを引きます。

両面印刷ユニットと用紙カセットが固定されたことを確認します。

❺ 用紙カセットごと両面印刷ユニットをプリンタに戻します。

4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

5 メニューマップ印刷を行い、両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

印刷メニュー

コピー枚数	1
両面印刷	オフ
出力ビン	フェイスダ
ジョブオフセット	オン
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	用紙違いの
用紙チェック	有効
OHP 検出	有効
解像度	1200DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用

❶ メニューマップ印刷をします。
詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷「印刷メニュー」に「両面印刷」が表示されていることを確認します。

6章

6 プリンタドライバで［両面印刷装置］または［両面印刷ユニット］を設定します。

WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

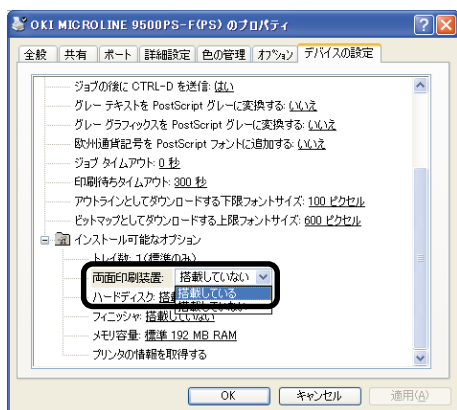
(WindowsMe の画面)

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［両面印刷ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

(WindowsXP の画面)

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［両面印刷装置］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

Windows PCL プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［両面印刷ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［両面印刷装置］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB 接続）の場合

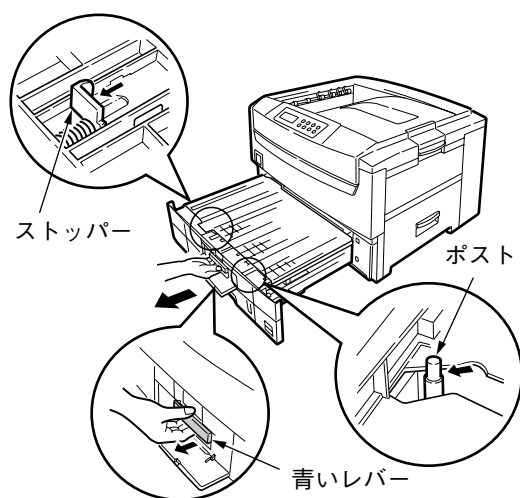
❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

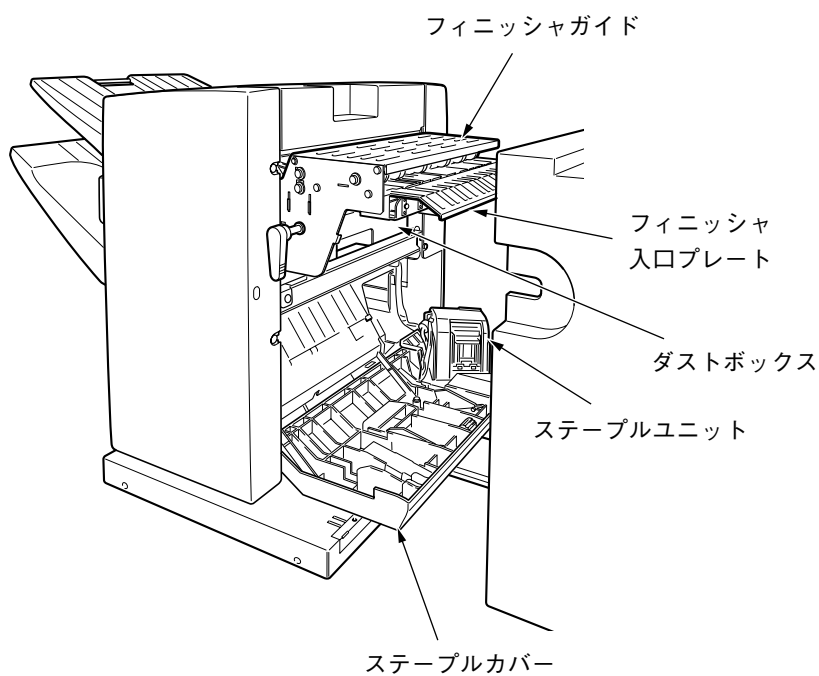
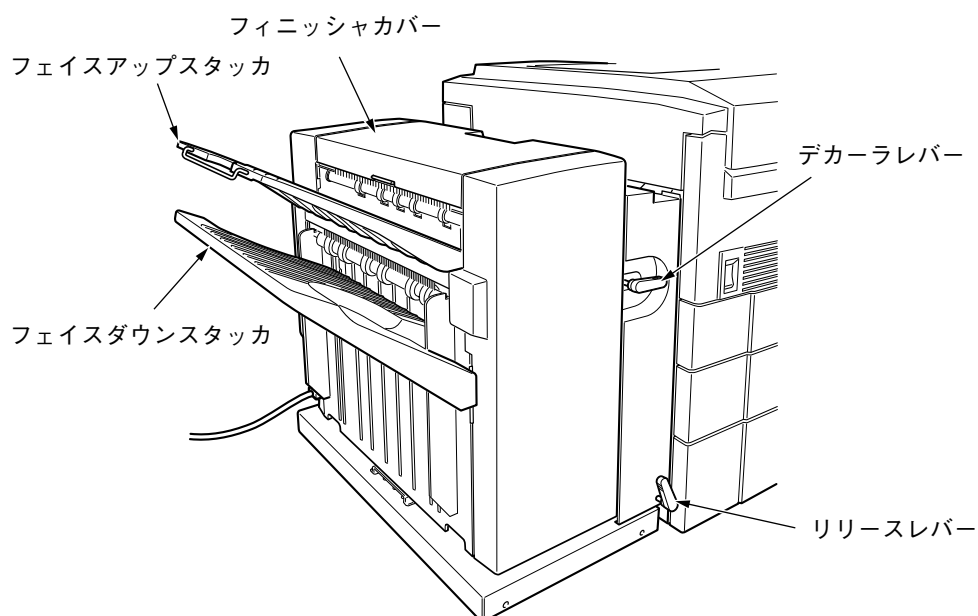
メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB インタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（65 ページ）をご覧ください。

Mac OS X の場合

1. ハードディスクの［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］をダブルクリックします。
2. ［MICROLINE ***］（*** はプリンタ名）を選択し、［削除］をクリックします。
3. ［プリンタを追加］をクリックします。
4. ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB 接続の場合は［USB］を選択します。
5. プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。
6. ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［Print Center］を閉じます。

メモ　両面印刷ユニットは以下の手順で外します。

1. 両面印刷ユニット前面の青いレバーを引きます。
2. ストッパーを手前に引きながら、ポストを手前に引きます。
3. 両面印刷ユニットを取り外します。

フィニッシャ

各部の名前

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　　：　10～32°C
  周囲湿度　　：　20～80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度：　25℃

設置に関する注意

⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

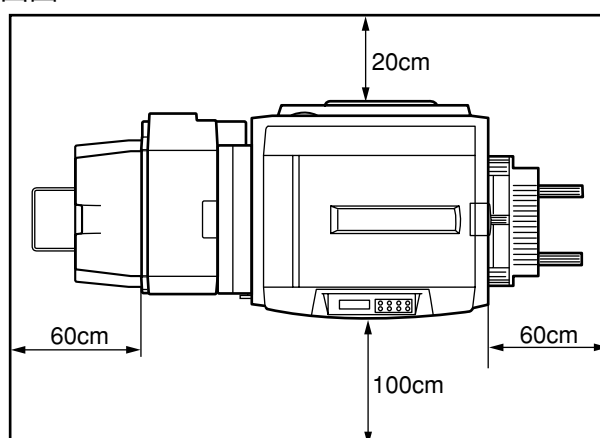
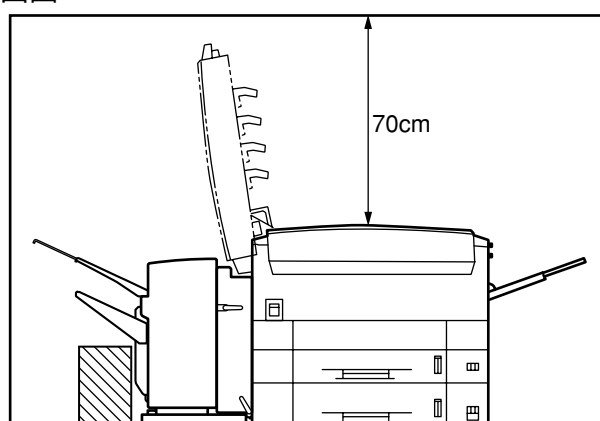
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- フィニッシャを移動するときは、フィニッシャの両側を持ってください。
- このフィニッシャは重量が約25kgありますので、お取り扱いに注意してください。

設置スペース

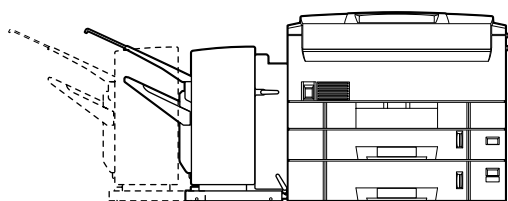
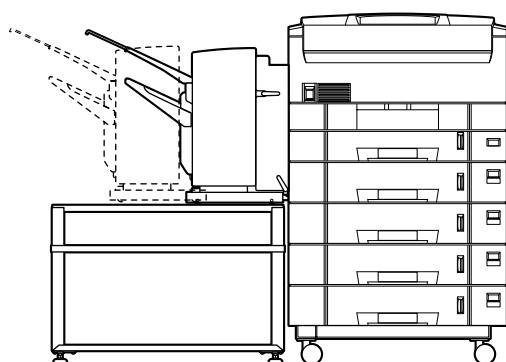
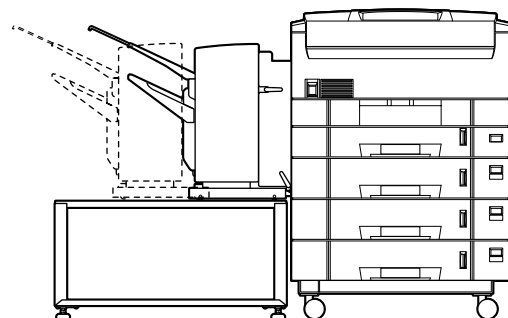
- フィニッシャの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

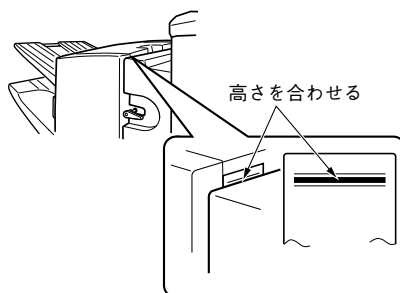
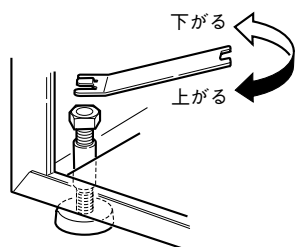
側面図

注

斜線部分に物を置かないでください。フェイスダウンスタッカ（下スタッカ）が上下に移動して、フィニッシャが故障するおそれがあります。

取り付け

- お客様ご自身では設置作業は出来ません。設置作業は沖データの指定業者が行います。
- お客様ご自身ではフィニッシャをプリンタから完全に外すことはできません。外したい場合は、沖データの指定業者に連絡してください。
- フィニッシャを使用するには、オプショントレイが必要です。下図のいずれかの構成でご使用ください。

Iタイプ*1
（セカンドトレイ）

IIIタイプ*2
（セカンドトレイ＋大容量トレイ）

IIタイプ*2
（大容量トレイ）

*1：Iタイプの場合、長さ125cm以上、幅70cm以上、耐荷重120kgの机の上にフィニッシャとプリンタの両方を置いてください。

*2：IIタイプ・IIIタイプの場合、オプションのフィニッシャ・コピーユニット兼用台が必要です。ジュータンやカーペットの沈みなどでプリンタとフィニッシャの高さが合わなくなった場合、フィニッシャ・コピーユニット兼用台の足（4つ）のネジを添付の専用工具で回して調節してください。

6章

電源を入れます

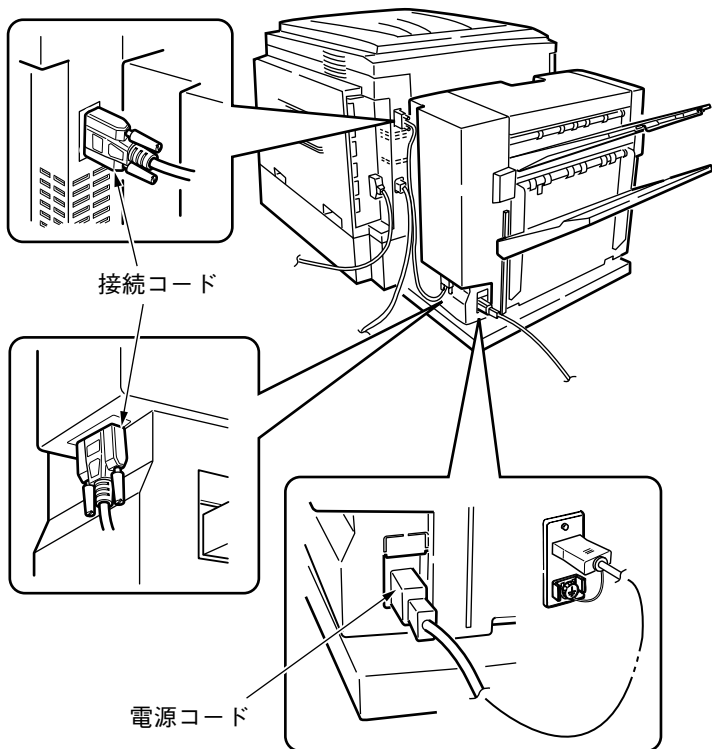
電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V ± 10%
  電源周波数　：　50Hz または 60Hz ± 2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本フィニッシャの最大消費電力は62Wです。プリンタ本体の消費電力に加算して電源容量に十分余裕があることを確認してください。

⚠警告

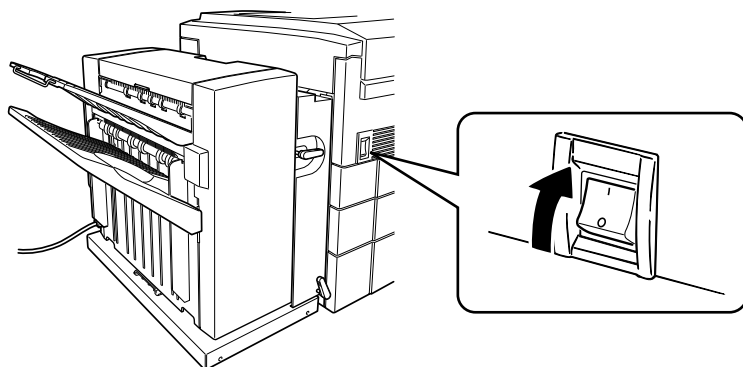
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ずプリンタ本体の電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタ、フィニッシャが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。

1 フィニッシャの接続コードと電源コードを接続します。

注 プリンタの電源スイッチが OFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードがフィニッシャとコンセントに接続されていることを確認します。

❷ 接続コードがプリンタとフィニッシャのインタフェースコネクタに接続されていることを確認します。

2 プリンタの電源スイッチの ON（｜）を押します。

プリンタの電源を入れると自動的にフィニッシャの電源が入ります。

メニューマップ印刷をします

メニューマップ印刷を行い、フィニッシャが正しく取り付けられていることを確認します。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ 0 を数回押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ 1 または 5 を押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹ 3 を押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

❺「OutputDevice:Finisher」が表示されることを確認します。

（サンプル）

MenuMap　　MICROLINE 9500PS-F

Printer Serial Number:　プリンタ管理番号:
CU version:B1.00 [I00.65 S2.2.5n2 B02.41(FA) PPC750CXe 600MHz 00082214 00020010 F32 J0]
PU version:00.01.09 [PI02.09 L000.08.13 DU00.73.36 T202.00.02 T302.00.02 T402.00.02 T502.00.02 FI00.01.05]
PCL Program version:01.30 [04.16 X00.27 P F]
PS Program version:3011.106,PS61　トレイ1:A4 横送り　DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:192 MB　トレイ2:A4 横送り　DIMM Slot B:Morisawa font [PS:00.10]
Flash Memory:4 MB [F32]　トレイ3:A4 横送り
HDD:6.01 GB [F32]　トレイ4:A4 横送り
JP1 P0E0　トレイ5:A4 横送り　OutputDevice:Finisher
C:0 M:0 Y:0 K:0

印刷ジョブメニュー
パスワード入力

インフォメーションメニュー
メニューマップ印刷
ファイルリスト印刷
PCLフォント印刷
PSフォント印刷

カラーメニュー
自動濃度補正モード　自動
濃度補正
カラー調整
シアン HIGHLIGHT　0
シアン MID-TONE　0
シアン DARK　0
マゼンタ HIGHLIGHT　0
マゼンタ MID-TONE　0
マゼンタ DARK　0
イエロー HIGHLIGHT　0
イエロー MID-TONE　0
イエロー DARK　0
ブラック HIGHLIGHT　0

プリンタドライバで［フィニッシャ］を設定します

注 WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（WindowsMe の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［フィニッシャ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

 ［トレイ数］の設定も確認してください。

 TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PS)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［フィニッシャ］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

 ［トレイ数］の設定も確認してください。

 TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

Windows PCL プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

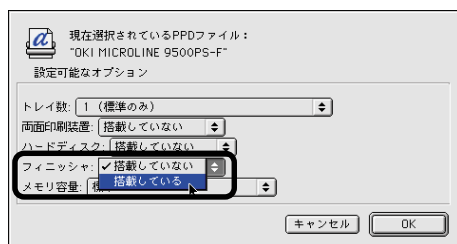
❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE ***(PCL)］（*** はプリンタ名）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［フィニッシャ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

［トレイ数］の設定も確認してください。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［フィニッシャ］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

注　［トレイ数］の設定も確認してください。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB 接続）の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB インタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（65 ページ）をご覧ください。

6章

Mac OS X の場合

注 Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では利用できません。

❶ ハードディスクの［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］をダブルクリックします。

❷［MICROLINE ***］（*** はプリンタ名）を選択し、［削除］をクリックします。

❸［プリンタを追加］をクリックします。

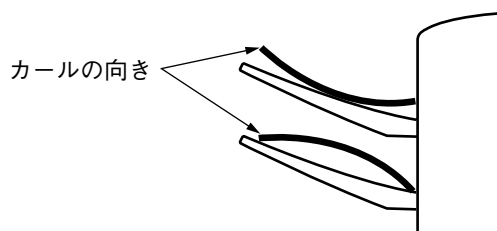
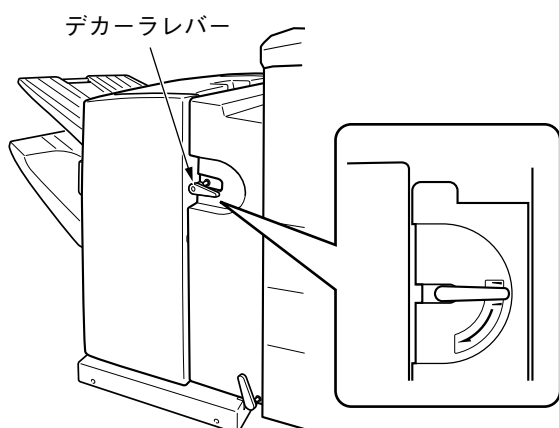
❹ ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB 接続の場合は［USB］を選択します。

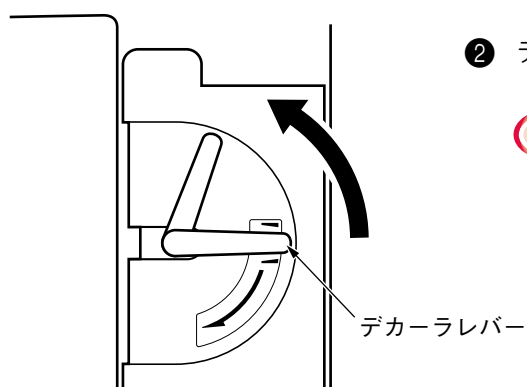
❺ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❻［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［Print Center］を閉じます。

6
章

デカーラ機能について

フィニッシャに排出される用紙が下図の方向にカールが大きい場合、紙づまりやフィニッシャスタックエラーになることがあります。デカーラ機能を使用すると用紙のカールを少なくすることができ、エラーが回避されることがあります。

1　デカーラレバーを操作します。

❶ デカーラレバーが水平にセットされていることを確認します。

注 通常はこの状態で使用してください。

❷ デカーラレバーを上向きに回します。

注 用紙のカールの方向によっては、紙づまりやフィニッシャスタックエラーになる場合があります。その場合には、デカーラレバーを元の水平に戻してください。

7 メンテナンスをします

メモ

以下の項目は、「ユーザーズマニュアル（リファレンス編）」の「1　メンテナンスをします」をご覧ください。

・ベルトユニットを交換します
・定着器を交換します
・給紙ローラを交換します
・フィニッシャ（オプション）のホチキス針を補充します
・フィニッシャ（オプション）のパンチダストを廃棄します
・LEDヘッドを清掃します
・色ずれ補正調整をします
・濃度補正調整をします
・プリンタ表面を清掃します
・プリンタを輸送するとき

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［＊＊＊　トナーコウカン　ジュンビ］（＊＊＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［トナーヲ　イレテクダサイ］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度の場合（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約7,500枚（大容量トナーカートリッジは約15,000枚）です。新しいドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときには、交換の目安の枚数は約半分になります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

オンライン　　　　　　．ＡＵＴＯ ＊＊＊　トナーコウカン　ジュンビ	→	トナーヲ　イレテクダ゛サイ ｎｎｎ：＊＊＊

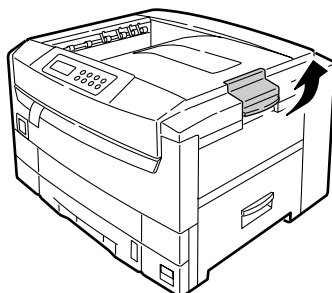
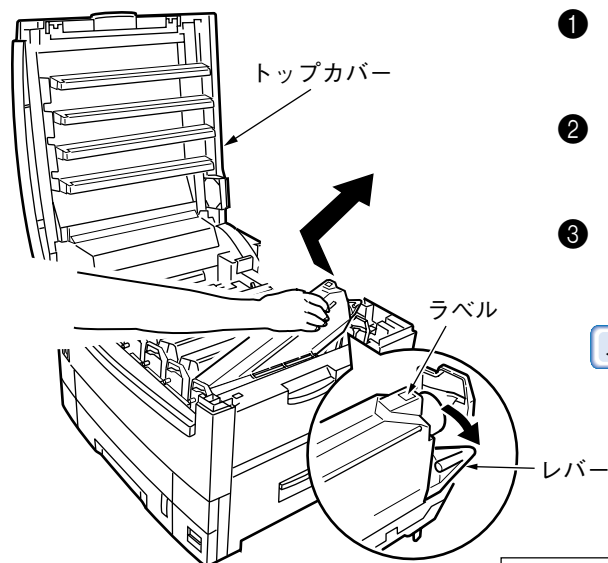
- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- ［トナーヲ　イレテクダサイ］表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、イメージドラムカートリッジの故障の原因となりますので、必ずトナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

7章

トナーカートリッジを交換します

1 トップカバーを開けます。

	やけどのおそれがあります。	

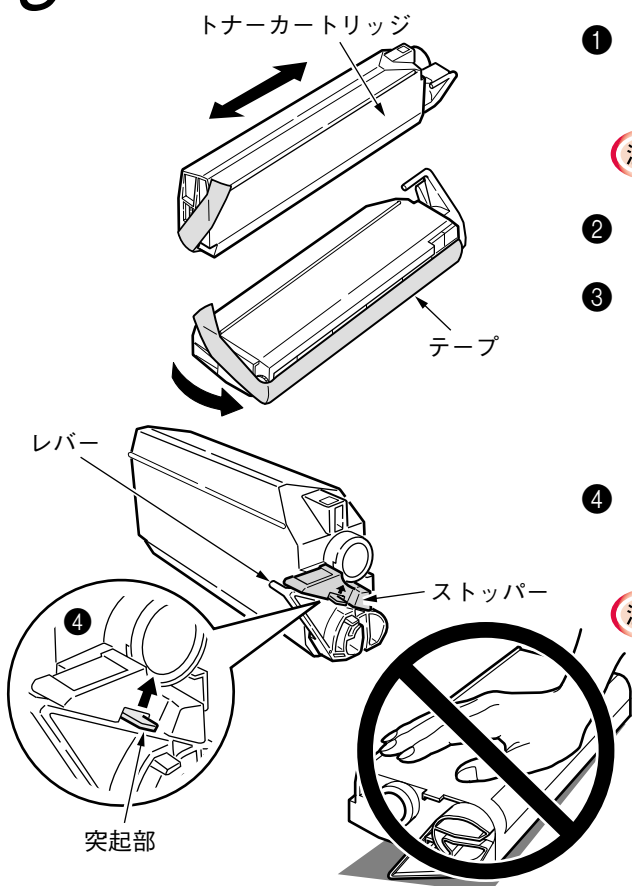
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❸ トナーカートリッジのレバー側を持ち上げ、横にずらすようにして取り出します。

メモ 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(171ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

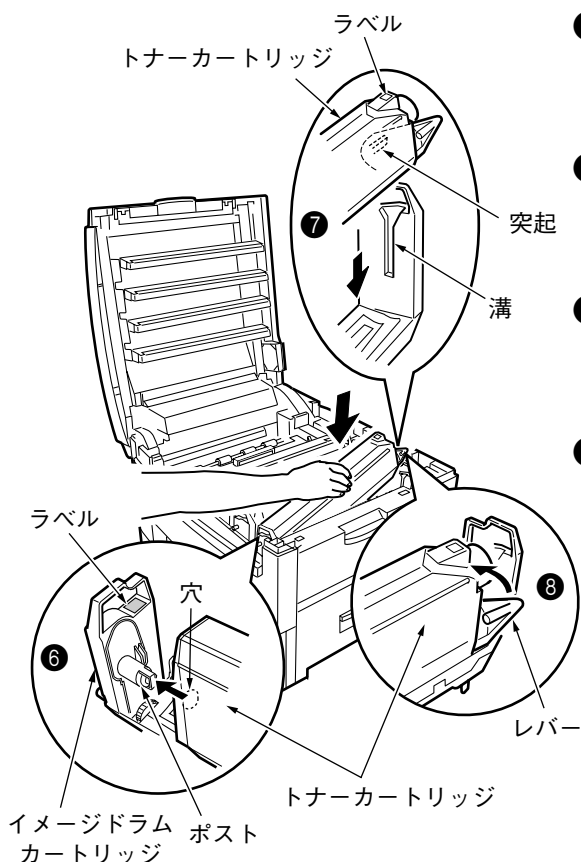
注 新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジのレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

レバー
ストッパー
❹
突起部

❹ レバーのストッパー(オレンジ色)を外します。突起部を矢印方向に押すと外れます。

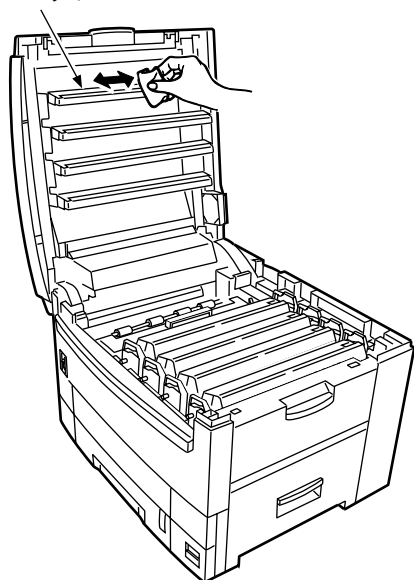
注 トナーカートリッジを裏返した状態で荷重をかけないでください。レバーが動き、トナーがこぼれる場合があります。

❺ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼ トナーカートリッジの突起をイメージドラムカートリッジの溝に合わせしっかり押し込みます。

❽ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

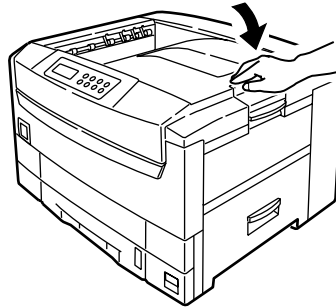
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパでLEDヘッド全体を軽く拭きます。

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ　LEDレンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジにも添付されています。

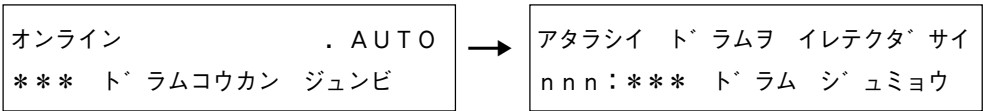
5 トップカバーを閉じます。

トナーカートリッジの交換後に、操作パネルの［トナーフソク］または［トナーヲ　イレテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
また、「トナーセンサエラー」が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

7
章

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

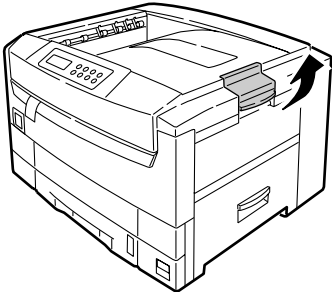
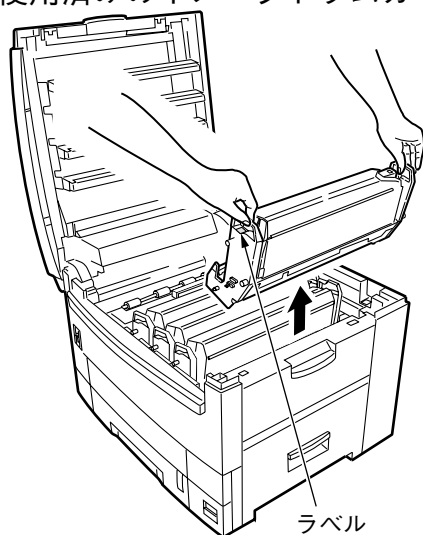
イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに［＊＊＊　ドラムコウカン　ジュンビ］（＊＊＊は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［アタラシイ　ドラムヲ　イレテクダサイ］を表示して印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約 26,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に３枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。（連続印刷で約 39,000 枚に相当します。）

オンライン　　　　　　　．ＡＵＴＯ ＊＊＊　ト゛ラムコウカン　ジュンビ	→	アタラシイ　ト゛ラムヲ　イレテクタ゛サイ ｎｎｎ：＊＊＊　ト゛ラム　シ゛ュミョウ

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

イメージドラムカートリッジを交換します

1　トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2　使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ 交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

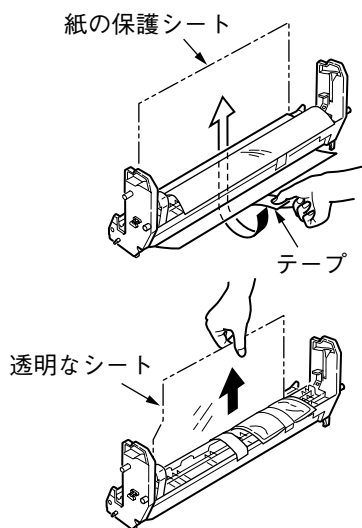
❷ イメージドラムカートリッジを取り出します。イメージドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

メモ　使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（171 ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

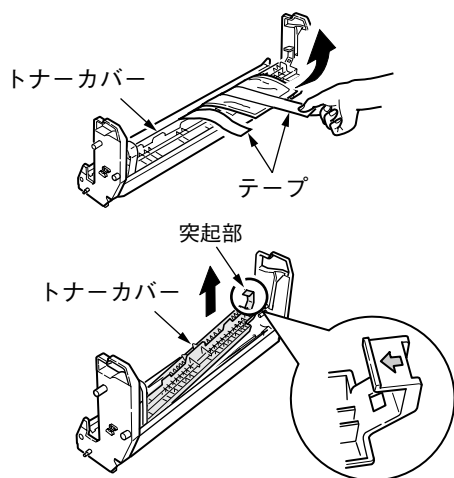
⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

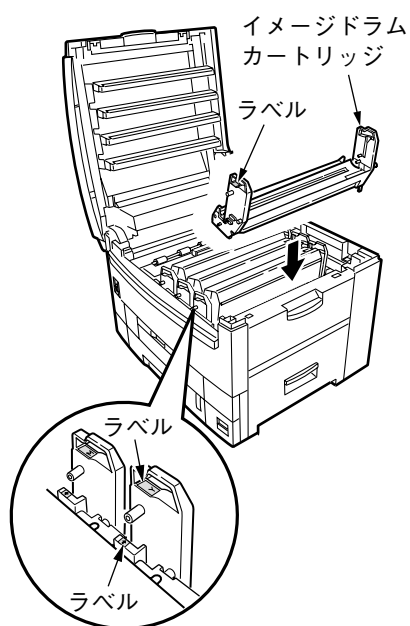
3　新しいイメージドラムカートリッジをセットします。

❶ 新しいイメージドラムカートリッジを包装袋から取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

- 新しいイメージドラムカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。
- トナーの飛散に注意して作業してください。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❷ 紙の保護テープをとめているテープをはがし、イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

❸ 透明なシートを矢印の方向に引き抜きます。

7章

❹ トナーカバーを固定しているテープをはがし、突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

メモ　トナーカバーは不燃物として処理してください。

❺ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

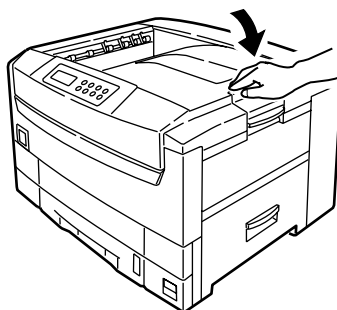
❻ イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

4 新しいトナーカートリッジをセットします。

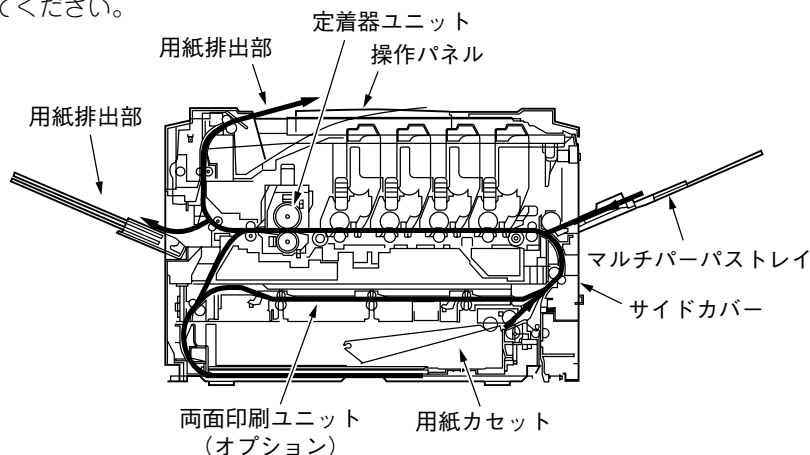
詳しくは「トナーカートリッジを交換します」(146 ページ)をご覧ください。

注 今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

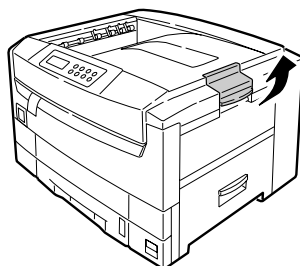
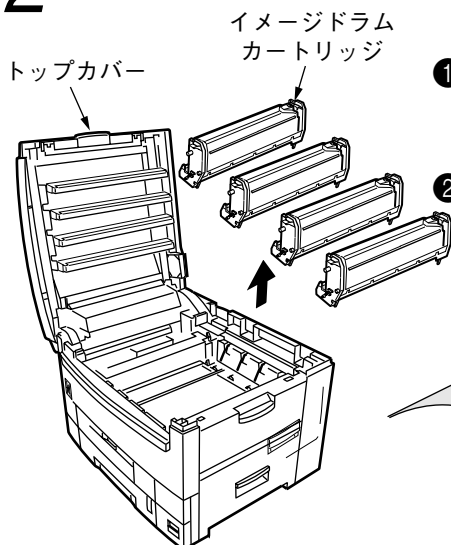
- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

5 トップカバーを閉じます。

8 紙づまりになったとき

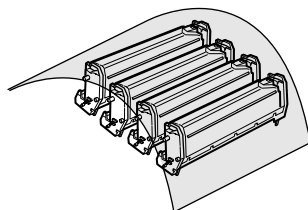
紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると操作パネルに［ヨウシ　ジャム］メッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 トップカバーを開けます。

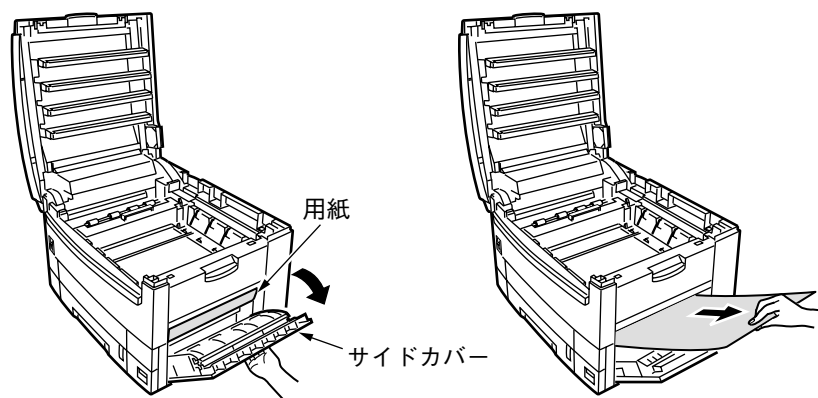
注意	やけどのおそれがあります。	

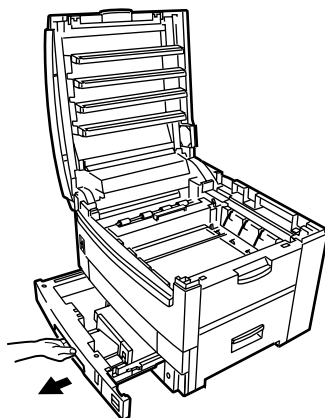
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

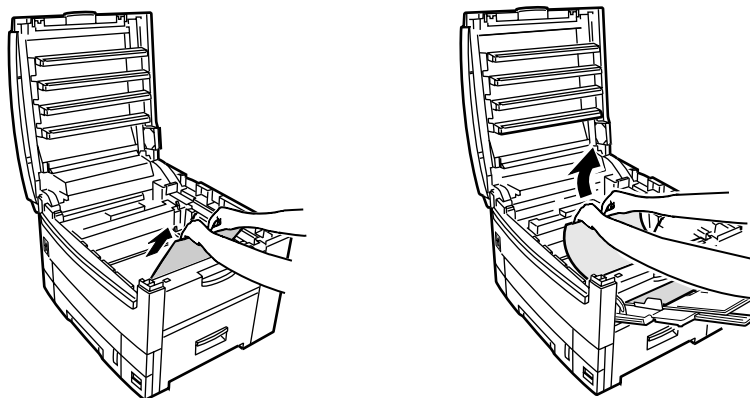
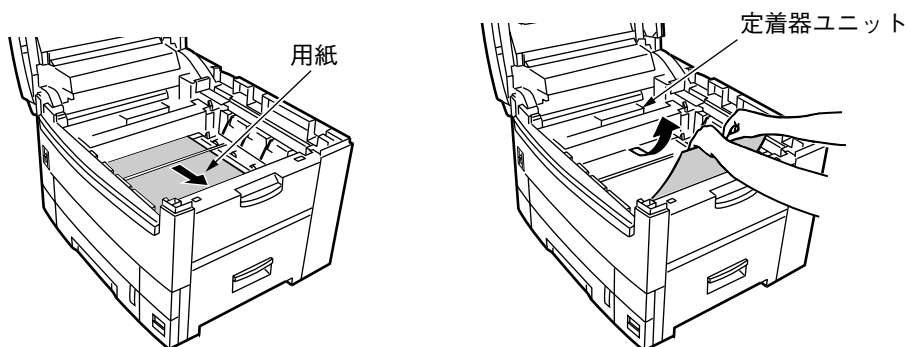
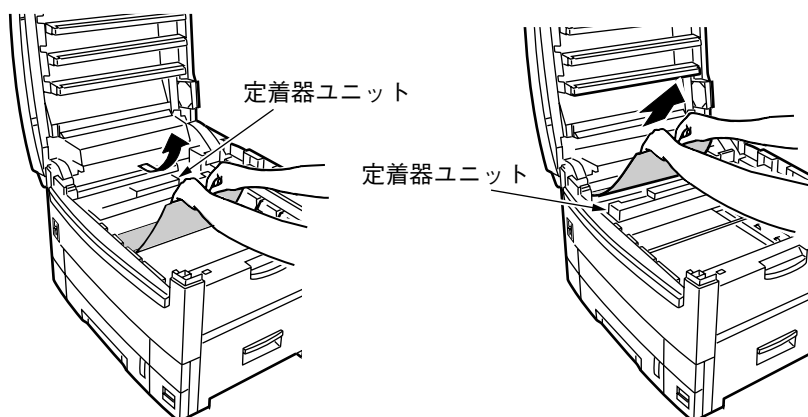
❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

3 つまった用紙を取り除きます。

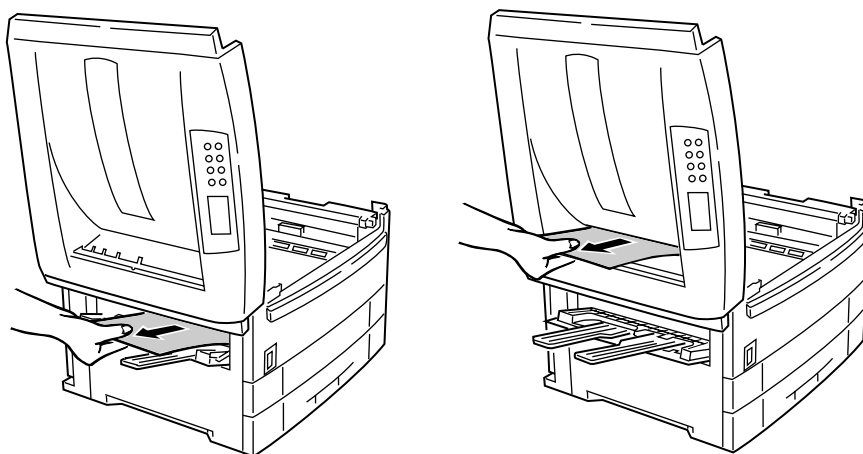
サイドカバー部

サイドカバーを開け、用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙カセット部

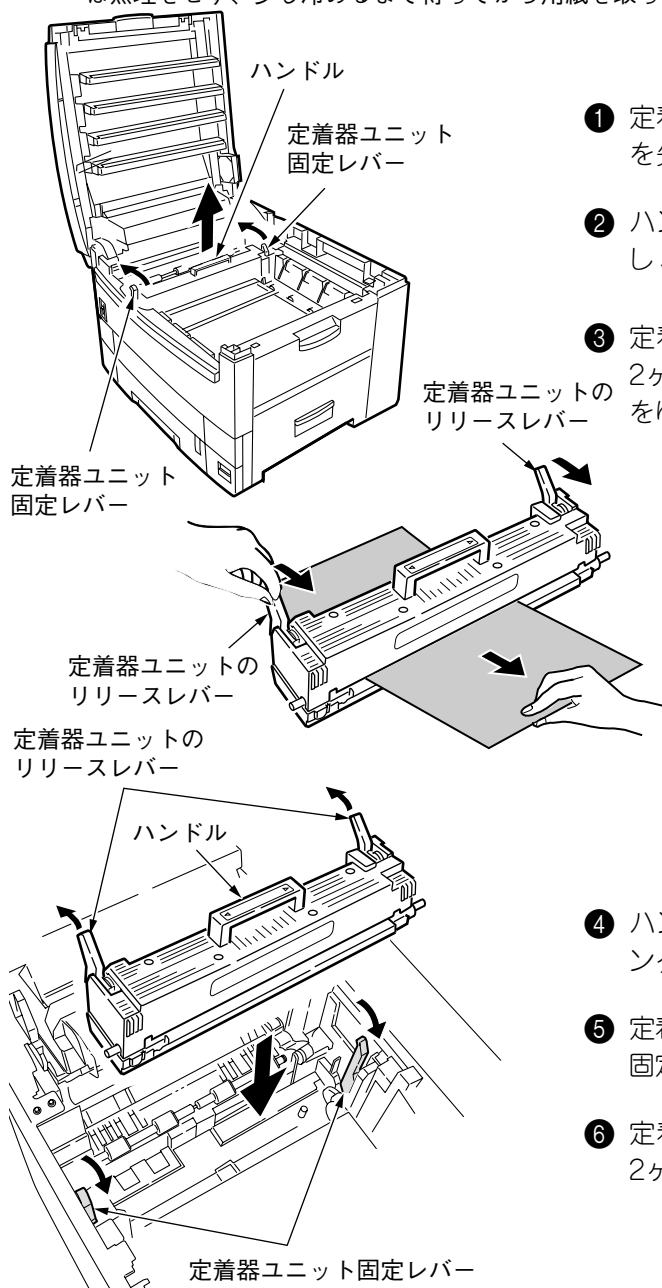
用紙カセットを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。

トップカバー内部

用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合は、つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙排出部

排出口から用紙をゆっくり引き出します。

用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

定着器ユニット部

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ倒します。

❷ ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❸ 定着器ユニットのリリースレバー（青色2ヶ所）を矢印の方向に倒し、つまった用紙をゆっくり引き出します。

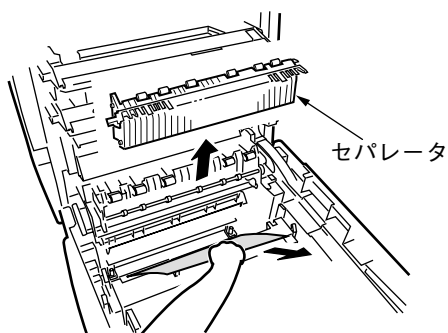
❹ ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

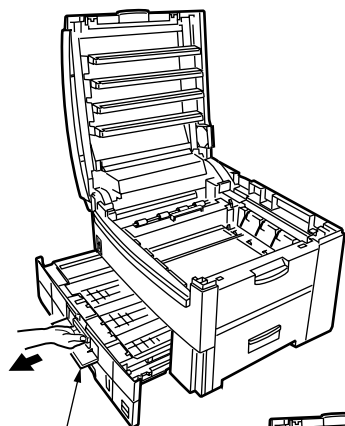
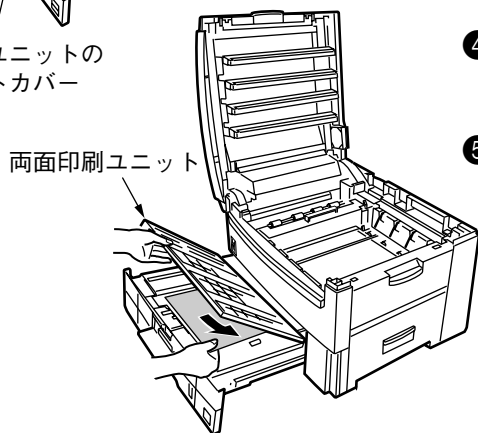
❺ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）で固定されるまで、しっかりと押し込みます。

❻ 定着器ユニットのリリースレバー（青色2ヶ所）を矢印の方向に戻します。

- 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、メニューマップ（「メニューマップ印刷をします」（26ページ））、白紙等を数回印刷してください。
- プリンタの電源をONにしたとき、操作パネルに［サービスコール／173：エラー］または［サービスコール／177：エラー］が表示された場合は、プリンタの電源をOFFにし、定着器ユニットを取り付け直してください。

8章

両面印刷ユニット部（オプション）

❶ セパレータを取り外し、用紙があれば引き出します。

❷ サイドカバーを開け、用紙があればゆっくり用紙を引き出します。

❸ 両面印刷ユニットのフロントカバーを開き､用紙カセットごと両面印刷ユニットを完全に引き出します。

両面印刷ユニット

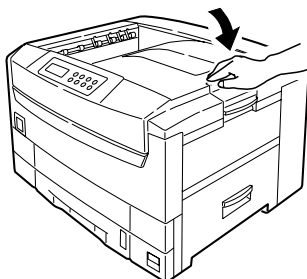
❹ 両面印刷ユニットを開き、つまっている用紙を取り出します。

❺ 用紙カセットごと両面印刷ユニットをプリンタに戻し､両面印刷ユニットのフロントカバーを閉じます。

8章

セカンド/サードトレイユニット（オプション）、大容量トレイユニット（オプション）から給紙したときに紙づまりが発生した場合は､それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないか確認してください。また、トップカバーを一旦開閉しないとアラーム表示を解除できません。

---

4 イメージドラムカートリッジを戻し、トップカバーを閉じます。

フィニッシャ（オプション）使用時

フィニッシャで紙づまりになったとき

用紙を取り除いてもつまった用紙のリカバー印刷はされません。
ホチキス止め指定がされている印刷データは、ホチキス止めされずに残りの用紙が排出されます。

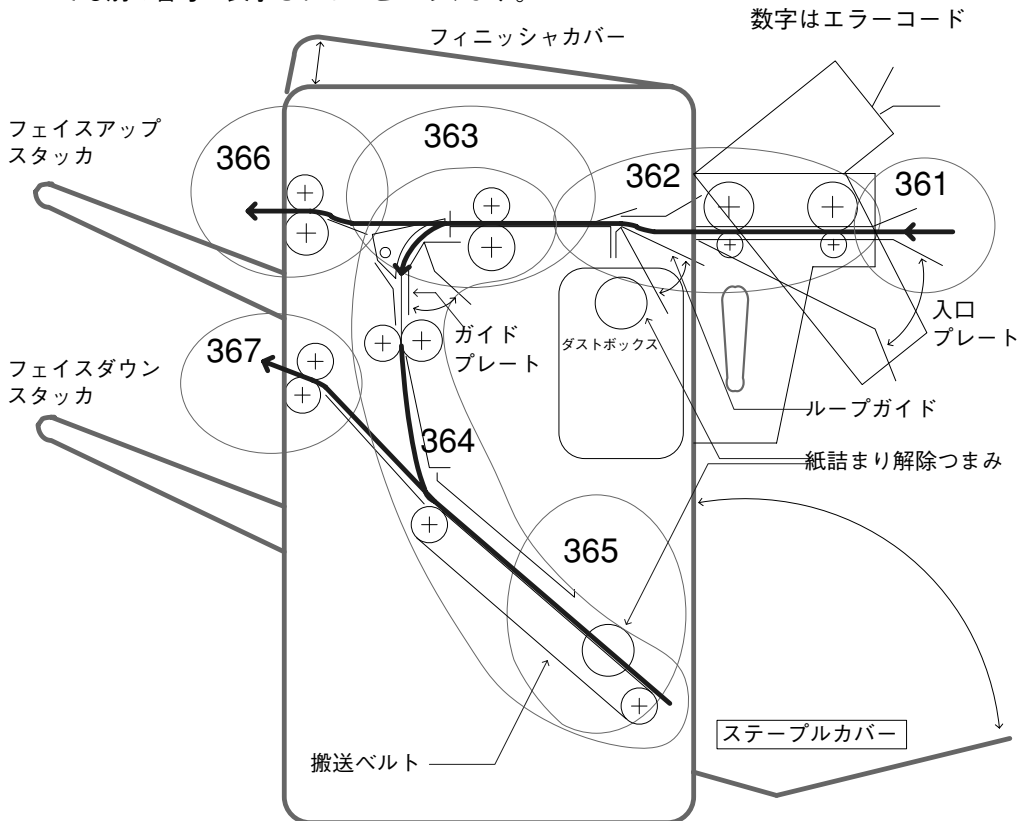
プリンタで紙づまりになったとき

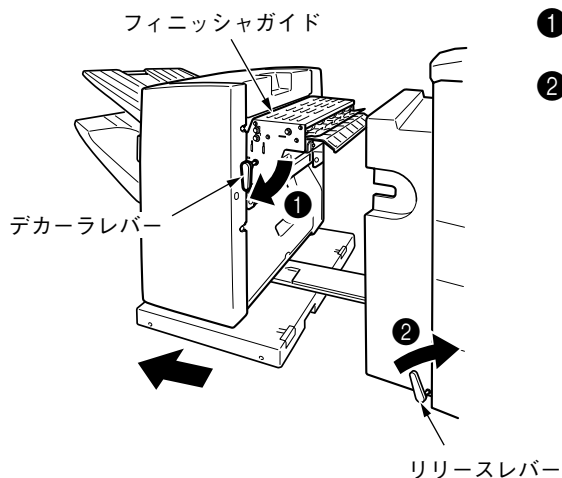
用紙を取り除くとつまった用紙からリカバー印刷されます。
ホチキス止め指定されている印刷データは、つまった用紙が1ページ目の場合にはホチキス止めされて用紙が排出されます。つまった用紙が2ページ目以降の場合は、ホチキス止めされずに用紙が排出されます。

プリンタの操作パネルで、「ジャムリカバー」が「オン」に設定されている必要があります。
初期設定は「オン」になっています。

---

1 プリンタの操作パネルに紙づまりの場所がエラーコードで表示されるので、場所を確認します。

注 番号は最初につまった場所を表示します。つまった場所が数カ所ある場合は、紙を取り除いても別の番号が表示されることがあります。

メモ 紙詰まりは 361 ～ 367 までの番号で表示されます。

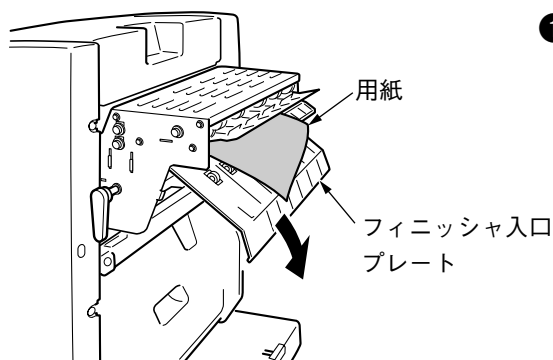
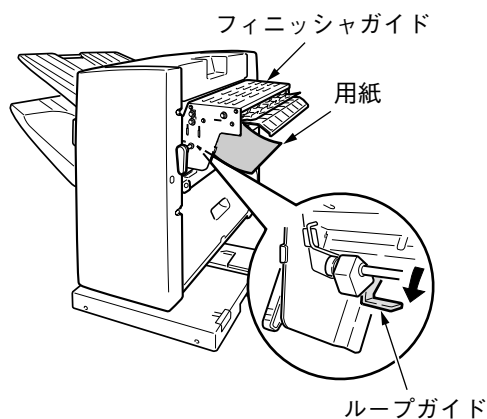
2 フィニッシャを外します。

❶ デカーラレバーを下向きに回します。

❷ リリースレバーを上に持ち上げながら、フィニッシャをプリンタから離します。

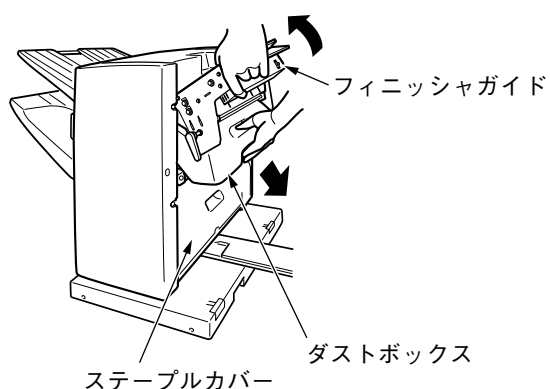
注 フィニッシャガイドが熱くなっている場合があります。その場合は、冷めるまで待って次の作業を行ってください。

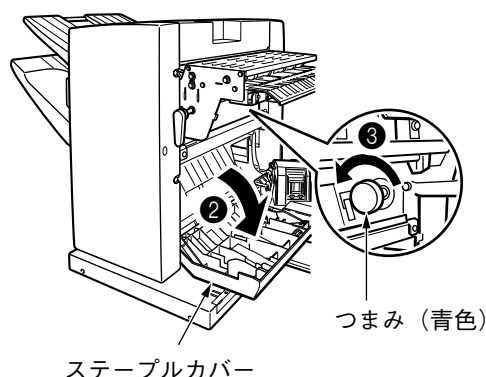
3 つまった用紙を取り除きます。

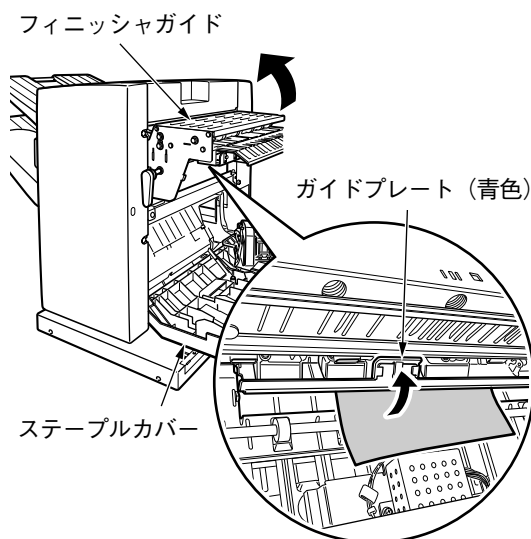
注 フィニッシャ内部の部品や端部でけがをしないように注意してください。

361、362 の場合

❶ フィニッシャ入口プレートを下に押しながら、用紙があれば引き出します。

❷ フィニッシャガイドの中にあるループガイドを下に押しながら用紙を引き出します。

メモ フィニッシャガイドを持ち上げると、用紙が取りやすくなります。

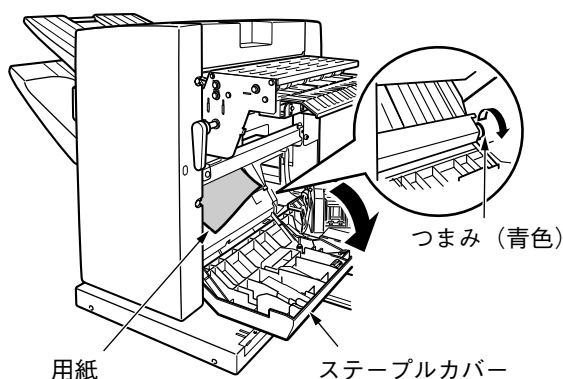
363、364 の場合

❶ フィニッシャガイドを持ち上げたまま、ダストボックスを取り外します。

- ダストボックスを取り外した場合は、必ず中のパンチダストを捨ててください。
- ダストボックスを取り外す際に、傾けすぎると中のパンチダストがこぼれ落ちる可能性がありますので、注意してください。

❷ ステープルカバーを開けます。

❸ フィニッシャガイドの奥にあるつまみ（青色）を、矢印の方向に回して、用紙が出てきたら引き出します。

❹ フィニッシャガイドの奥にあるガイドプレート（青色）を持ち上げながら用紙を引き出します。

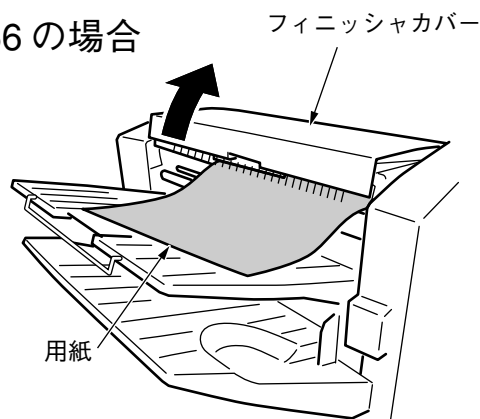
❺ フィニッシャガイドを持ち上げたまま、ダストボックスをセットします。

❻ ステープルカバーを閉じます。

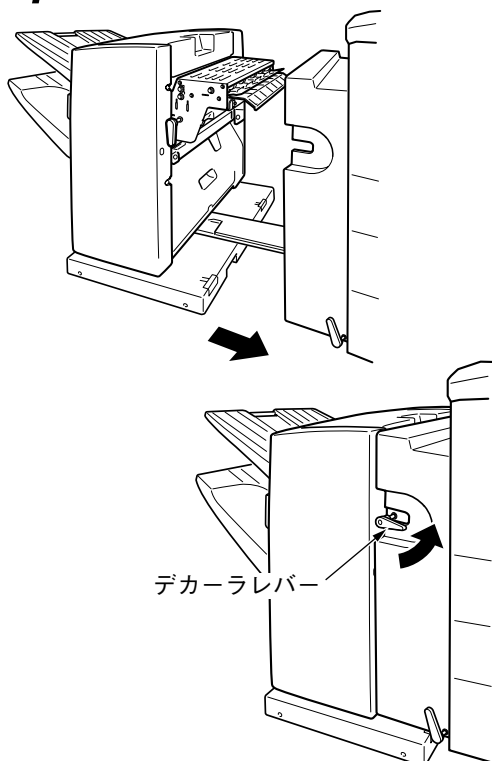
365、367の場合

❶ ステープルカバーを開けて、用紙を引き出します。

メモ つまみ（青色）を矢印方向に回すと、用紙が取りやすくなります。

❷ ステープルカバーを閉じます。

366の場合

❶ フィニッシャカバーを開け、用紙を引き出します。

❷ フィニッシャカバーを閉じます。

4 フィニッシャをプリンタに接続します。

❶ フィニッシャを矢印の方向に移動させ、プリンタに接続します。

❷ デカーラレバーを水平に戻します。

注 デカーラレバーを水平に戻していない場合、紙づまりがおこることがあります。

付　録

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、お近くの販売店またはサービス拠点（170 ページ）でお求めください。

品　名	型　名	内　容
MLカラーOHPシート	MLOHP01	専用OHPシート
カラーA3ノビ用紙	CP-500HG-A3W	1000枚包
カラーA3ノビ両面用紙	MLA3WC-DU	1000枚包
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3AK1	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3AY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3AM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3AC1	
大容量トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3AK2	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
大容量トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3AY2	
大容量トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3AM2	
大容量トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3AC2	
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C3AK	イメージドラムカートリッジ
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C3AY	
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C3AM	
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C3AC	
ベルトユニット	MLBLT-C3A	ベルトユニット
定着器ユニット	MLFUS-C3A	定着器ユニット
ML64MB増設メモリ	MLMEM64A	増設メモリ
ML128MB増設メモリ	MLMEM128A	増設メモリ
ML256MB増設メモリ	MLMEM256A	増設メモリ
ML512MB増設メモリ	MLMEM512A	増設メモリ
内蔵ハードディスク	MLHDD-C1A	内蔵ハードディスク
セカンド/サードトレイユニット	MLTRY-C3A1	セカンド/サードトレイユニット
キャスタ付セカンド/サードトレイユニット	MLTRY-C3A2	キャスタ付セカンド/サードトレイユニット
大容量トレイユニット	MLTRY-C3A3	大容量トレイユニット
両面印刷ユニット	MLDXU-C3A	両面印刷ユニット
プリンタ専用台	MLTBL01	プリンタ専用台
フィニッシャユニット	MLFNS01	フィニッシャユニット
フィニッシャ用ステープルカートリッジ	MLSTC01	フィニッシャユニット専用針 3000本×3個入り
フィニッシャ・コピーユニット兼用台	MLTBL02	大容量トレイに対応したフィニッシャの台
給紙ローラセット	MLRS-C3A	
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	

- 消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると､印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は､無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0～35˚C、湿度：20～85%RH範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり､急激に変化したりする場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは､「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　　0120-654-632

（携帯電話からは 03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

■西日本地区（東海・北陸以西）での修理のご依頼をお受けします。

西日本 OA コールセンタ（大阪）　　0120-003-544

（携帯電話からは 06-6459-0111）

受付時間　9 : 00 ～ 17 : 30 月曜日～金曜日
(但し　祝日を除く)

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは㈱沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。プリンタの操作方法やトラブルの原因がわからない

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　）

コンピュータ環境

□Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

□パラレル　□USB　□ネットワーク

□TCP/IP　□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない

他のコンピュータからの印刷　　：□正常　□印刷できない

付録

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店、またはお近くのサービス拠点へお電話でご連絡ください。

(株)沖北海道サービス(札幌)	〒060-0001	札幌市中央区北一条西9-3-27(第3古久根ビル)	011-261-3261
(株)沖東北サービス(仙台)	〒980-0802	仙台市青葉区二日町3-10(グランシャリオビル3F)	022-212-5167
(株)沖情報機器サービス(新潟)	〒950-0082	新潟市東万代町1-30 (新潟第一生命戸田建設共同ビル)	025-241-6838
(株)沖関東サービス(秋葉原)	〒111-0052	台東区柳橋2-19-6(秀和柳橋ビル9F)	03-3865-6599
(株)沖北関東サービス(新宿)	〒160-0022	新宿区新宿2-19-1(ビックス新宿ビル3F)	03-3225-3131
(株)沖中部サービス(名古屋)	〒453-0861	名古屋市中村区岩塚本通2-1-2(MSビル2F)	052-413-6510
(株)沖電気カスタマアドテック(金沢)	〒921-8163	金沢市横川7-35-1(大洋不動産ビル7F)	076-242-3300
(株)沖関西サービス(大阪)	〒550-0004	大阪市西区靭本町1-4-12(本町富士ビル)	06-6459-0120
(株)沖中国サービス(広島)	〒731-0138	広島市安佐南区祇園2-9-31	082-871-2601
(株)沖四国サービス(高松)	〒761-8058	高松市勅使町632-4	087-868-3040
(株)沖九州サービス(福岡)	〒815-0035	福岡市南区向野2-9-21	092-512-4197

※各サービス拠点の住所、電話番号は変更される場合がありますので、ご了承ください。
※弊社ホームページでは最新の住所、電話番号を記載しておりますので、こちらもご覧ください。
http://www.okidata.co.jp

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

ケガをするおそれがあります。

このプリンタは重量が約72Kgありますので、3人以上で持ち上げてください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下記用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ(http://www.okidata.co.jp)よりご連絡いただければ、回収におうかがいいたします。

(お願い)

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　:
* 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 024-594-2798

沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）: ____________________
ご担当者名　: ____________________
ご住所　: ____________________
お電話番号　: ____________________
回収ご希望日時　: 　　年　　月　　日　　午前／午後　　時

回収依頼品

イメージドラムカートリッジ	:	個
トナーカートリッジ	:	個
EPトナーカートリッジ	:	個
定着器オイルローラ	:	個
廃棄トナーボックス	:	個
ベルトユニット	:	個
定着器ユニット	:	個
インクリボンカートリッジ	:	個
その他マイクロライン消耗品	:	個

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

オキカラーページプリンタ
MICROLINE 9500PS-F
MICROLINE 9500PS
MICROLINE 9300PS
ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2004年 7月　第4版
発行者　株式会社 沖データ

42253601EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。